

平成21年度版（平成20年度の状況）

環境基本計画 年次報告

# 安城市環境報告書

地球にやさしい環境先進都市をめざして



安城市

# 皆様のご意見・ご感想をお寄せください

安城市では、安城市環境基本計画に掲げる各種施策及びこの環境報告書の内容について、市民、事業者の皆様からの声を環境行政に反映させるため、広くご意見・ご感想を募集しています。

## 1 意見等の締切日

平成22年2月26日(金)

## 2 意見等の提出先及び提出方法

安城市役所 環境首都推進課

- (1) 郵送の場合: 〒446-8501 安城市桜町18-23
- (2) ファックスの場合: 0566-76-1112(代)
- (3) 電子メールの場合: kankyo@city.anjo.aichi.jp

※様式は自由です。なお、この環境報告書の巻末にアンケートも兼ねた参考様式を掲載していますので、ご利用ください。また、ご意見等の提出の際には必ずご住所・お名前・電話番号・FAX番号・メールアドレス等をご記入ください。  
なお、お電話でのご意見は受けかねますのでご了承ください。  
※お寄せいただいたご意見については個別に回答いたしません。

## 3 問い合わせ先

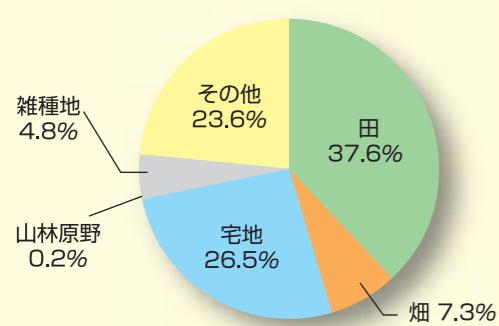
安城市役所 環境首都推進課 TEL 0566-71-2206

### ●安城市的概要 (平成21年4月1日現在)

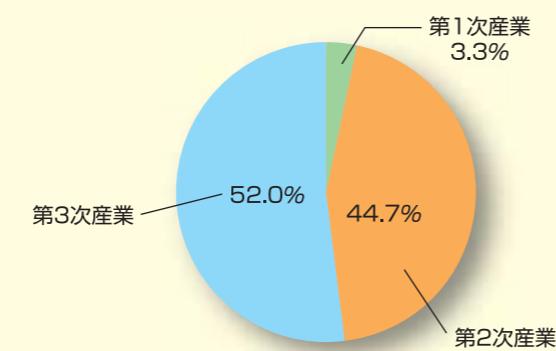
- ◆人口 179,547人(男 92,106人・女 87,441人)
- ◆世帯数 66,942世帯
- ◆面積 86.01km<sup>2</sup> (南北 14.7km・東西 10.0km)



### ●土地利用状況 (平成21年1月1日現在)



### ●産業別就業人口 (平成17年10月1日現在)



# 市民とともに育む 環境首都 安城

私たちのまち安城市は、きれいな水と豊かな自然に恵まれ、人情あふれるまちとして歴史を刻んできました。

この環境を守り大切にし、より良い環境を次の世代に引き継ぐことは私たちの責務であり、市民、事業者、市が手をとりあって取り組んでいかなければなりません。

市民一人ひとりが地球的な視点に立ち、省資源・省エネルギー・リサイクルなどを実践していくことにより環境への負荷を軽減するとともに、人間と環境のかかわりについての理解を深め、身近なところから着実に行動していくことが大切です。市においても、あらゆる施策に環境の視点を取り入れることにより「つくる」から「いかして使う」へ発想を転換し、自然環境のみならず人の暮らしを取り巻く人間環境についてもよりよいものを市民と協働で築き上げていきます。

そして、これまでに培ってきた歴史や文化など安市の環境資源を最大限に活用し、安市の特色を生かした個性あるまちづくりをめざします。

第7次安城市総合計画



# 安城市が推進する環境施策

## ◆環境基本計画

この計画は『安城市総合計画』を環境面から補完する計画として位置づけ、今後の環境政策の基本とするものです。

本市では、平成13年3月に環境基本計画を策定し、率先して環境保全活動への取組を進めましたが、その後、めざす都市像を「**市民とともに育む環境首都・安城**」とした第7次総合計画が策定されたため、策定後5年を経過することを受けて環境基本計画を見直し、平成18年3月に改定しました。

※この報告書は、安城市環境基本計画に明記されている具体的な施策の進行度合や成果指標の達成状況について公表し、外部からも計画内容の進捗状況の点検をすることによって計画に基づく適切な施策の実施を図るため、年次報告書として毎年度作成しています。

## ◆改定のポイント

- ①広報による施策提言の募集、環境アドバイザーへのインタビュー、まちかど座談会等における意見交換を実施しました。
- ②基本的な枠組は変更せずに、具体的な施策を中心に見直しを行いました。
- ③具体的な施策について、成果指標を定量的数値で表示することを基本としました。
- ④新たに**重点推進項目**を設定しました。

## 安城市環境基本計画の体系図

### 4つの望ましい環境像

#### 1 かがやく水の恵みをうけて、花と緑のあふれるまち：【共生】

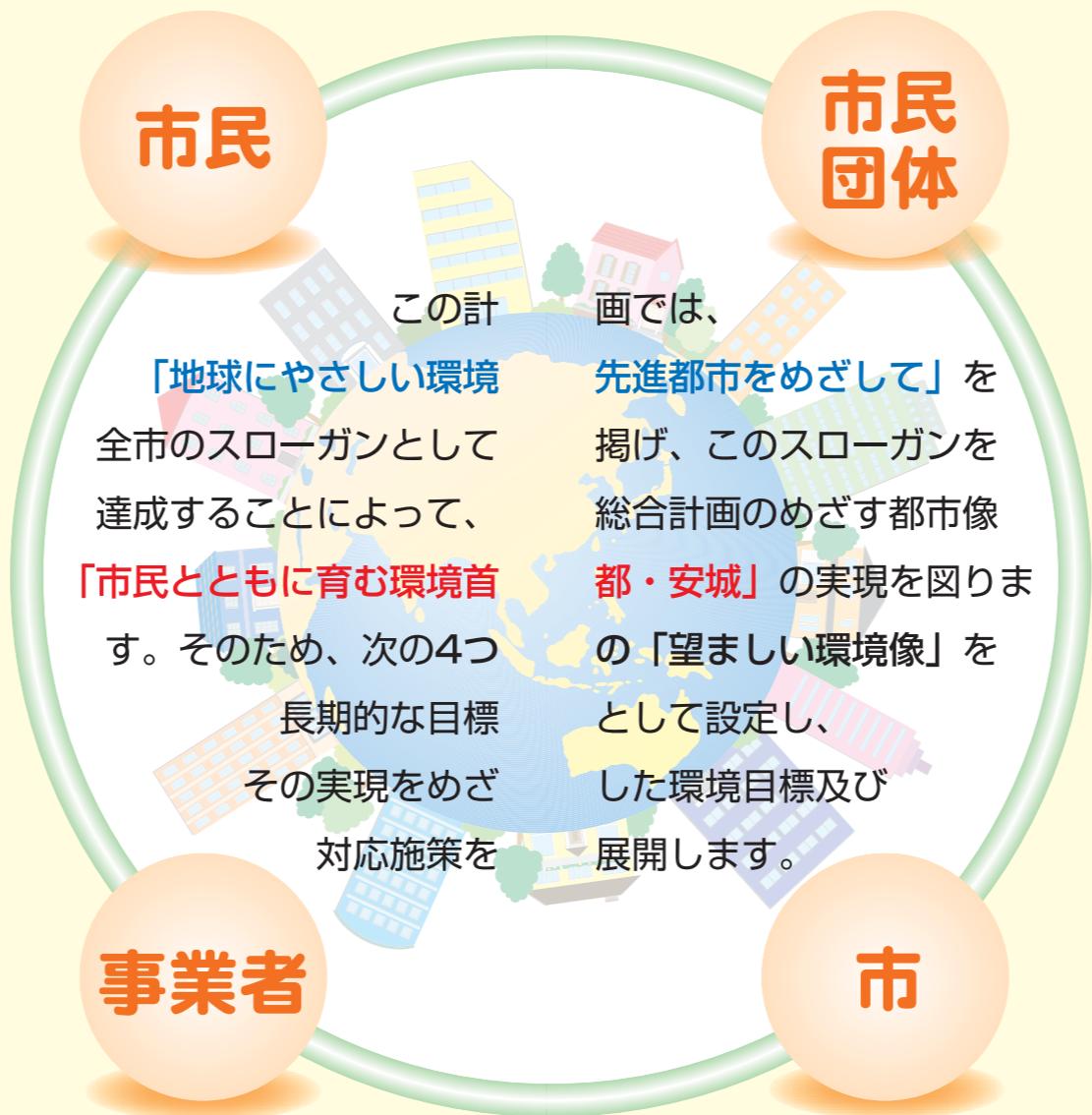
市民が誇れる恵み豊かな自然、景観、歴史的・文化的環境資源を保全及び創造し、人と自然とが**共生**していくまちをめざします。

- 環境目標**
- 1 田園景観の継承
  - 2 心地よい都市景観の創出
  - 3 身近な緑の保全と創出
  - 4 多様な動植物と共生する水辺環境の創出
  - 5 歴史的・文化的環境資源の保全と継承

#### 2 健康で快適なくらしを未来に引き継ぐまち：【循環】

日常生活や事業活動による環境への負荷を可能な限り減らし、大気・水・廃棄物などの物質の健全な**循環**を保ち、良好な環境を将来に引き継ぐまちをめざします。

- 環境目標**
- 6 水資源の保全及び河川・湖沼の水質浄化
  - 7 道路交通環境対策の推進
  - 8 良好的な生活環境の保全
  - 9 環境配慮型ライフスタイルの推進
  - 10 環境保全型農業の推進



#### 3 自ら進んで地球環境を守るまち：【地球環境】

一人一人の活動が地球全体の環境に影響を及ぼしていることを認識して、自ら進んで人類共通の課題である**地球環境保全**に貢献するまちをめざします。

- 環境目標**
- 11 地球温暖化防止対策の推進
  - 12 地球環境保全に貢献

#### 4 みんなが参加し、考え、行動するまち：【協働】

ふるさとの環境を守りはぐくみ、将来に引き継ぐために市民・市民団体・事業者・市がそれぞれの役割を理解し合いながら**協働**し、自主的、積極的に行動するまちをめざします。

- 環境目標**
- 13 市民・市民団体・事業者・市のパートナーシップの形成
  - 14 環境情報の共有化
  - 15 環境教育・学習の推進

# 目 次

◆ 地球にやさしい環境都市宣言	i
◆ 安城市が推進する環境施策、安城市環境基本計画の体系図	ii、iii
◆ 重点推進項目の進捗状況	1
共生	2
循環	7
地球環境	13
協働	16
◆ 環境の現況と望ましい環境像の実現に向けた施策の実施状況	21
望ましい環境像	
① かがやく水の恵みをうけて、花と緑のあふれるまち【共生】	
I 環境の現況	22
II 施策の実施状況	23
望ましい環境像	
② 健康で快適なくらしを未来に引き継ぐまち【循環】	
I 環境の現況	26
II 施策の実施状況	32
望ましい環境像	
③ 自ら進んで地球環境を守るまち【地球環境】	
I 環境の現況	36
II 施策の実施状況	38
望ましい環境像	
④ みんなが参加し、考え、行動するまち【協働】	
I 環境の現況	40
II 施策の実施状況	41
◆ 環境マネジメントシステム（ISO14001）部門別実行計画達成状況	44
◆ 平成21年度環境関連事業予算一覧	48
◆ 意見記入用紙	53

## 重点推進項目の進捗状況

### 重点推進項目とは

安城市環境基本計画の重点推進項目は、本市の望ましい4つの環境像である『共生』『循環』『地球環境』『協働』の実現に向けて、具体的な施策の中から、特に全体を効果的に推進し、市民・市民団体・事業者・市のパートナーシップで行動するためのもので、20項目を定めています。

いずれも成果指標に2010年度を目標年度とした具体的な数値や、取組主体として市・市民・市民団体・事業者の役割等を示すことから同計画のリーディングプロジェクトと位置づけています。

## 共生

農業の有する多面的な機能（自然環境の保全、水源のかん養、良好な景観の形成等）を發揮できる農地の保全

◆目的

優良農地の保全を図るため、国土利用計画法、農業振興地域の整備に関する法律及び農地法などに基づき、計画的かつ長期的な土地利用を進める。

◆長期目標

◎2020年に3,630haの農地を確保する。

◆内容

- ・耕作放棄地及び遊休農地の解消及び生産緑地の確保のため、市民農園・家庭菜園等の活用方法及び支援策について検討する。
- ・利用権設定等により農地の利用集積を推進し、耕作放棄地の抑制を図る。
- ・耕作放棄及び無断転用の抑制のため、農地パトロールを強化する。

◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
農地面積	ha	4,033	3,899	3,840

◆平成20年度の取組状況

### 安城市アグリライフ支援センターの設立

●設置目的

市民が「農」を楽しむまちづくりをめざす「安城アグリライフ構想」を総合的に推進する拠点であり、「農」ある暮らしを実践する人材育成の場として設置

●施設概要

施設の名称	安城市アグリライフ支援センター
所 在 地	安城市石井町辻原131番地2 電話92-6200
施設の内容	事務所・研修棟 221.13m <sup>2</sup> 倉庫 95.30m <sup>2</sup> ビニールハウス 72.00m <sup>2</sup> 実習・体験農園 2,576.00m <sup>2</sup> (実習農園：30区画：12m×2.5m)

●事業展開

「野菜づくり入門コース」や「体験・スポット講座」などを平成21年度以降実施する。



アグリライフ  
支援センター



実習・体験農園

### 緑道の整備・拡充

◆目的

明治用水等の水路敷上部を利用した緑道整備により緑のネットワークを形成し、農村と市街地との交流の促進を図る。

◆長期目標

◎2014年までに緑道整備を28kmまで整備する。

◆内容

- ・花の木用水及び西徳用水の上部を利用した緑道整備を2009年までに計1.0km、2014年までに計2.0kmの施工をする。

◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
緑道（自転車歩行者道）の整備	km	26.0	27.0	28.0

◆平成20年度の取組状況

### 西徳用水の緑道整備

西徳用水の水路敷上部を利用して、緑道を整備。歩行者、自転車にとって安全で快適な空間を創出した。

●整備概要

延長L=155m  
幅員W=4.0m～6.0m



西徳用水（桜井町）

### 明治用水緑道整備計画の策定

エコサイクルシティ計画で自転車ネットワークの幹線として位置づけられている明治用水緑道を、より安全で快適に走行できるようにするための整備計画を市民参加によるワークショップにて策定した。



ワークショップの様子



整備後イメージ

## 電線類の地中化促進

### ◆目的

電線類の地中化により、良好な都市空間を創出し、災害に強いまちづくりを推進するとともに、道路のバリアフリー化による歩行者・自転車の通行の安全を図る。

### ◆長期目標

◎電線類を地中化した道路整備延長を2014年までに3,500m整備する。

### ◆内容

- ・安城駅前地区は、市の中心市街地として位置づけられており、商工会議所及び地元関係者を主体として利用者の観点を含めた安全で快適な道路の在り方の議論を受け、電線類の地中化及び歩道環境を改善する。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
電線類地中化道路整備延長	m	1,240	1,490	2,800

### ◆平成20年度の取組状況

#### 市道御幸本赤松線の無電柱化と道路のバリアフリー化工事

##### ●整備概要

- ・目的  
電柱・電線類を地中化し、道路のバリアフリー化することにより、安全で快適な歩行空間を確保し、美しい都市景観の形成を図ります。

- ・事業内容  
電線共同溝の本体工事に引きつき、上部の道路整備を行いました。

道路整備工事 整備延長 L = 250 m

道路幅員 W = 18.0 m



#### 市道御幸本上条線および市道御幸本町1号線のバリアフリー化の実施設計

##### ●整備概要

- ・目的  
電柱・電線類を地中化し、道路をバリアフリー化することにより、安全で快適な歩行空間を確保し、美しい都市景観の形成を図ります。

- ・事業内容  
電線共同溝整備路線の道路整備の設計を行いました。

道路詳細設計業務委託 設計延長 L=250 m



整備後イメージ

## 市民等による道路、公園等での環境保全活動の支援

### ◆目的

環境美化地域を清掃するボランティア団体を募集し、清掃用具の貸与等の支援を行う。また、公園等での樹木保全活動を行う緑を守る市民団体等へ情報提供や交流機会の提供の支援をする。

### ◆長期目標

◎アダプト団体数を2020年までに50団体にする。

◎緑を守る団体数を2020年までに145団体にする。

### ◆内容

- ・環境美化を行うボランティア団体を募集し、そのボランティアが道路や公園、河川などの公共施設において、活動の地域を自ら決めて、市と協定等を交わし、清掃・美化活動を行う。
- ・市は、団体に対して清掃用具、ベスト等の貸与、傷害保険の加入、看板の設置などの活動支援や他団体と交流の機会を提供する。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
アダプト団体数	団体	14	28	35
緑を守る団体数	団体	115	132	139

### ◆平成20年度の取組状況

- ・PRにより加入を促進。
- ・緑を守る団体に桜井駅西公園、木戸東公園、池浦西公園、篠目公園、花ノ木用水、東海道、作野四季の道、重原田公園の8団体が加入。(1団体減)

## 都市計画道路における街路樹の整備

### ◆目的

みどり香るサスティナブルタウン桜井の実現のため、桜井駅周辺特定土地区画整理事業地区内の都市計画道路の築造には、地域のテーマに合った街路樹の整備を進める。

### ◆長期目標

◎成果指標に同じ。

### ◆内容

- ・桜井北線の名鉄西尾線以西の400m、南安城桜井線の1,200m、桜井南線の名鉄西尾線以西400mについて、2010年度までに整備する。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
桜井地区土地区画整理事業内 都市計画道路の街路樹整備	m	0	468	2,000

### ◆平成20年度の取組状況

- ・取組実績はありません。(土地区画整理事業の進捗に合わせて整備しているため)

## 市民との協働による公園整備

### ◆目的

住民参加によるワークショップ形式での公園整備を推進することで、完成後も公園を身近な存在として認識し大切に愛着をもって利用してもらうことを目的とする。

### ◆長期目標

◎成果指標と同じ。

### ◆内容

- ・住民参加によるワークショップ形式での新規公園整備を2010年には31か所にする。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
ワークショップ形式による公園整備数	か所	19	29	31

### ◆平成20年度の取組状況

#### ワークショップ形式による公園整備

##### ●ワークショップ概要

平成20年度に整備した姫西せせらぎ公園、東栄公園、高根公園などは、平成19年度に地域住民参加によるワークショップを3回程度開催し、整備内容、維持管理等について様々な意見を交換し、住民ニーズを公園整備に盛り込みました。この中では、立場の違う様々な年代の住民が、積極的に発言し、公園整備を通じて地域コミュニティ機能の促進につながりました。また、意見の中では、子どもが自ら考えて遊べる遊具の設置や将来を見越した植樹など、公園整備に大変参考になるものがありました。



##### ●平成20年度整備が完了した公園概要

姫西せせらぎ公園	桜井町塔見塚	2,500m <sup>2</sup>
東栄公園	東栄町野池	11,000m <sup>2</sup>
高根公園	東栄町高根	5,000m <sup>2</sup>



姫西せせらぎ公園



東栄公園

## 循環

## 公共下水道の普及率向上及び接続促進

### ◆目的

公共下水道整備を計画的に行い、接続を促進し、汚水が速やかに排除されることにより、周辺環境が向上し、便利で快適な生活を享受できることをめざす。

### ◆長期目標

◎下水道普及率を2020年までに80%にする。

◎下水道水洗化人口を2020年までに136,000人にする。

### ◆内容

- ・油ヶ淵流域を始め市内の公共下水道整備を計画的に進めるとともに、供用開始区域内の水洗化を図るための事前説明会、未接続者の戸別訪問とアンケート調査並びに水洗便所改造資金無利息融資斡旋等を行う。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
下水道普及率	%	54.1	66.6	71
下水道水洗化人口	人	73,500	101,305	103,000

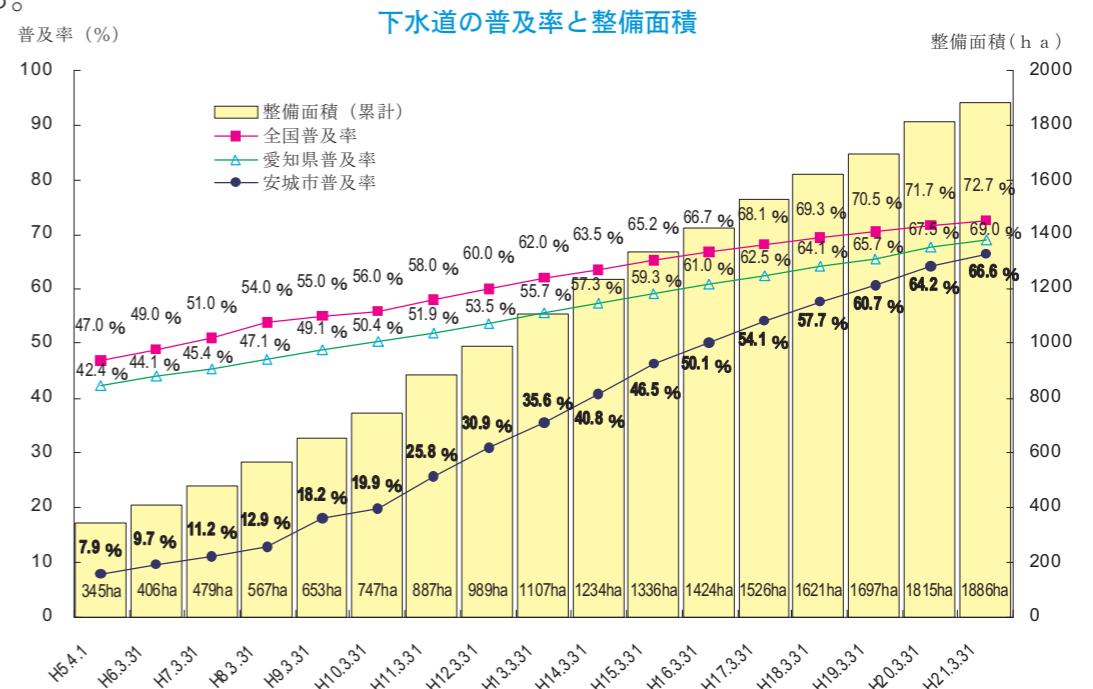
### ◆平成20年度の取組状況

#### 下水道整備及び接続促進

本市の公共下水道は、愛知県が事業主体である「矢作川・境川流域下水道」に接続する流域関連公共下水道として発足し、処理区は3つ（矢作川、境川、衣浦東部処理区）に分かれている。

公共下水道は、平成5年4月の矢作川処理区の供用開始から、平成8年度には境川処理区、平成10年度には衣浦東部処理区の供用を開始し、順次供用地区を拡大している。

平成20年度は3処理区で72ha、24,310mの整備を行い、平成21年3月31日現在、行政人口179,547人に対し、処理区域内人口は119,491人となり、人口普及率は66.6%と着実に増加している。



## 生活排水等に関する監視、指導及び実践事業

### ◆目的

生活排水対策モデル地区として指定し、学習会やアンケート調査、1か月間実践活動することで、家庭からの生活排水に対する意識を高め、浄化対策の実践を促す。

### ◆長期目標

◎生活排水対策モデル地区指定・実施した町内会を2020年度までに延べ33町内会にする。

### ◆内容

- ・毎年1町内会を生活排水対策モデル地区として指定し、1か月の実践活動を行なってもらう。学習会を開催するとともに事前・事後アンケートを実施する。
- ・地区内の代表的排水路を選定し、実践活動の前後に水質検査を行う。
- ・各アンケート集計及び水質検査結果を実施住民へ周知するとともに、今後も生活排水対策実践活動の継続実施を呼びかける。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
生活排水対策モデル地区実施町内会数	町内会	17	21	23

### ◆平成20年度の取組状況

#### 生活排水モデル地区事業

##### ●内容

市内を流れる長田川流域の福釜町内会地域を生活排水モデル地区として指定し、実践活動を中心とした生活排水対策を実施（7月）。

水質浄化実践啓発用品配布、アンケート調査（2回）、学習会（1回：100人）、水質分析（2回）



学習会の様子



## レンタサイクルの推進

### ◆目的

放置自転車のリサイクルを進めてレンタサイクルとして利用すると同時にサイクルポートを増設して自転車の利用頻度を上げる。

### ◆長期目標

◎2020年までにレンタサイクル事業のサイクルポートを13か所にする。

### ◆内容

- ・年間1000台を超える放置自転車をレンタサイクルとして有効的に活用する。
- ・中心市街地等への来訪手段を自動車からレンタサイクルに転換することで、自動車交通量の削減を図り大気環境の改善に寄与する。
- ・より利用しやすい環境を整えるためにサイクルポートの数を順次増設する。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
レンタサイクル事業のサイクルポート数	か所	3	9	10

### ◆平成20年度の取組状況

#### レンタサイクルポートの設置

健康的で経済性に優れ、環境に優しい自転車の利用促進を図るため、JR三河安城駅及び名鉄新安城駅にサイクルポートを増設し、市内9か所でレンタサイクルを実施。

#### レンタサイクル利用者数の推移

#### サイクルポート数と自転車数のグラフ



レンタサイクルポート（堀内公園）

## エコサイクルシティ計画の推進

### ◆目的

利便性や機動性、環境負荷の軽減など自転車の持つ機能を再認識し、本市の資源である明治用水緑道を中心に活用するエコサイクルシティ計画を策定することにより、自転車によるまちづくりを推進する。

### ◆長期目標

◎明治用水緑道の利用者の割合を2014年までに51%にする。

### ◆内容

- ・自転車道が縦横に整備され、自転車での公共施設や中心市街地へのアクセスを円滑にするため、明治用水緑道を機軸として既存道路、歩道を活用し、快適に通行できるネットワークを構築する。
- ・自転車利用における安全性を確保するため、自転車に十分配慮した道路の改修、整備を行う。
- ・市民の日常的な交通手段として広く自転車の利用促進を図る。
- ・市民に自転車の運転マナー、交通安全に対する正しい知識を普及するため、自転車安全教室を充実する。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
明治用水緑道の利用者の割合	%	—	42.2	47.0

### ◆平成20年度の取組状況

- ・モデル路線として、市道大東住吉線を設計。市民との協働によるイベントを実施。

### 自転車マップ・サイン計画の作成

自転車利用時における利便性を高めるために、情報を提供する取組みとして、自転車マップの作成及び自転車サイン計画の策定を自転車まちづくりセンター「エコりんりん」との協働で行った。



自転車用サインイメージ



自転車マップ

### 自転車イベントの開催

多くの市民が自転車を利用するメリットに"きづく"ためのきっかけづくりとして、サンクスフェスティバルで自転車啓発イベント及びデンマーク製三輪自転車体験乗車を行った。



ロードバイク体験



デンマーク製三輪自転車

## ごみの減量化に向けた ライフスタイル変革のための啓発

### ◆目的

環境行動実践事項を市民とともに作成し、目標値の設定と実践事例の紹介を通してライフスタイルの変革を図る。

### ◆長期目標

◎2020年までに1人1日あたり家庭系ごみ排出量を600g以下にする。また、事業系ごみも含めた全体排出量を900g以下にする。

### ◆内容

- ・市民のごみ減量実践事項について、市民の視点からアイデアを募集し、計画（目標値）の作成、実践の具体策の明示、実践事例の紹介（ホームページ・広報等）を行う。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g	739	712	640

### ◆平成20年度の取組状況

#### ごみ減量・分別説明会

ごみ減量20%を達成するため、ごみ減量の必要性、古紙の分別の方法など、各町内会や集合住宅、市民活動団体の会合などで延べ199回の説明会を実施した。

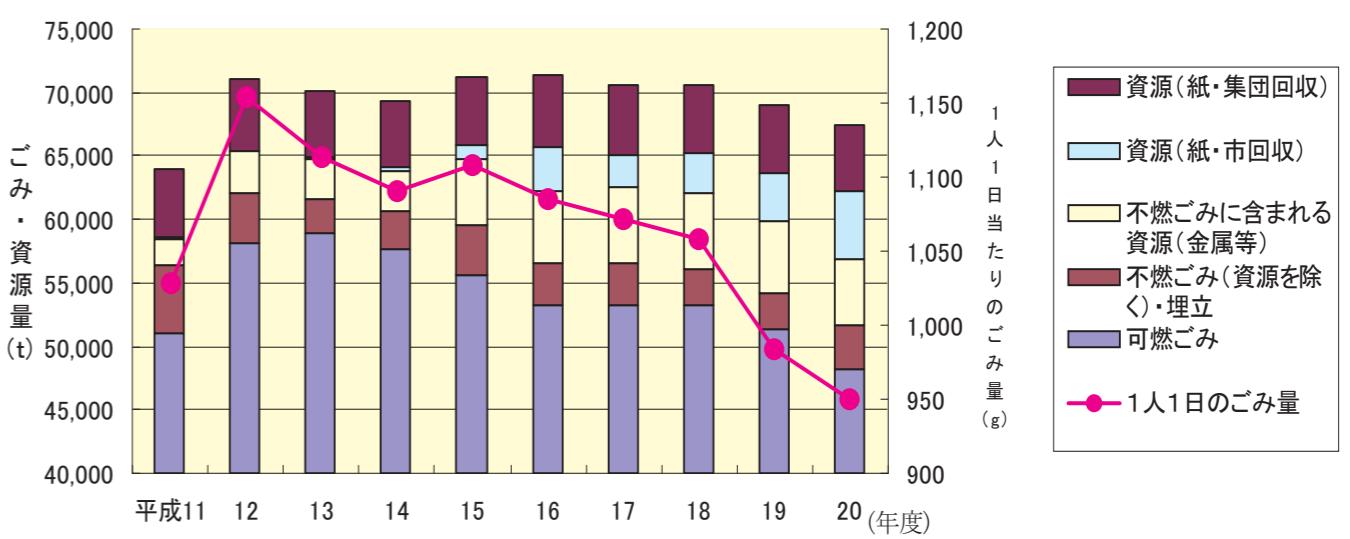
#### 古紙のごみステーション収集の開始

燃やせるごみとして出されている古紙のリサイクルを推進するため、ごみステーションでの古紙の収集を開始した。

#### ごみ減量推進委員会

ごみ減量20%の達成には、市民のみなさんが主体的に減量に取組んでいただかなければいけないため、市民の立場で幅広い議論を重ねていただくことで、具体的で実効性のある方策とができるとの思いから市民代表の委員で構成する「ごみ減量推進委員会」を設け定期的に開催している。平成20年度は6回開催した。

#### ごみ（一般廃棄物）処理量の推移



## 環境保全型農業への転換支援及び情報提供の充実

### ◆目的

農薬・化学肥料の使用量を削減し、環境への負荷を低減する。

### ◆長期目標

◎農薬、化学肥料の使用量について、1999年度を基準として2010年までに30%削減する。

### ◆内容

- ・年1回農薬販売量を調査するとともに作物の栽培こよみを減農薬・減化学肥料による栽培方法として作成し、農家に配布する。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
農薬の使用量の削減率	%	27.2	33.6	30.0
化学肥料の使用量の削減率	%	25.7	28.6	30.0

### ◆平成20年度の取組状況

- ・衣浦東部環境保全型農業推進協議会に働きかけ。

## 地産地消の推進

### ◆目的

地域で生産された農産物を地域内で消費拡大するため地産地消を進め、地域農業の活性化、安全安心な給食や食生活を推進する。

### ◆長期目標

◎給食における地元農産物の購入割合40%を維持する。

### ◆内容

- ・給食物資検討会において地元農産物の積極的な採用を進める。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
給食における地元農産物の購入割合	%	40.0	42.0	40.0

### ◆平成20年度の取組状況

- ・毎月開催の給食物資検討会で、地場産項目を別に設け地元農産物を積極的に採用。

## 地球環境

### 市の率先行動の実施と地球温暖化対策実行計画の推進

### ◆目的

市役所が率先して、地球温暖化に取り組むことで、民間レベルの地球温暖化対策を推進する。

### ◆長期目標

◎市施設から排出される温室効果ガスの総排出量（二酸化炭素換算値）を2010年までに1998年度比で6%の削減を図り、継続的に維持する。

### ◆内容

- ・市主要施設に財団法人 省エネルギーセンターのESCO事業の積極的な活用を検討し、省エネルギー機器の導入を図る。
- ・太陽光発電システムを公共施設に継続的に導入する。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
市施設から排出される温室効果ガスの総排出量（二酸化炭素換算値）	t	27,108	25,840	24,397

### ◆平成20年度の取組状況

- ・ISO14001による進捗管理。

### 市民会館ESCO事業

工場やビルの省エネルギー改善に必要な「技術」「設備」「人材」「資金」などを包括的に提供し、それまでの環境を損なうことなく省エネルギーを実現し、その効果を保証するESCO事業を市民会館に導入した。年間約69トンのCO<sub>2</sub>削減効果があると試算された。

### 公共施設への新エネルギー導入

市が率先して新エネルギーの導入を進めています。平成20年度は中部福祉センター(10kW)、安城南中学校(15kW)に太陽光発電設備を設置した。



太陽光パネル（中部福祉センター）

### 壁面緑化の推進

市内に緑のカーテンを広げるため、市役所本庁舎で壁面緑化に取り組んだ。



## 太陽光発電設備の積極的な活用の推進

### ◆目的

太陽光発電設備を設置することで地球温暖化対策、エネルギー対策を進める。

### ◆長期目標

◎市内における太陽光発電設備容量を2020年までに3,200 kWにする。

### ◆内容

- ・太陽光発電設備についての最新情報や国の動きを市民及び事業者がすばやく把握できるよう情報提供に努める。
- ・温室効果ガスである二酸化炭素の排出量を削減する手段として、クリーンエネルギーの代表である太陽光発電設備を市内的一般家庭に早期に普及させるための事業として住宅用太陽光発電報奨金制度等を実施する。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
市内における太陽光発電設備容量	kW	1,204	2,511	2,890

### ◆平成20年度の取組状況

#### 住宅用太陽光発電システム設置補助

住宅用太陽光発電システムの設置に報奨金を交付している。

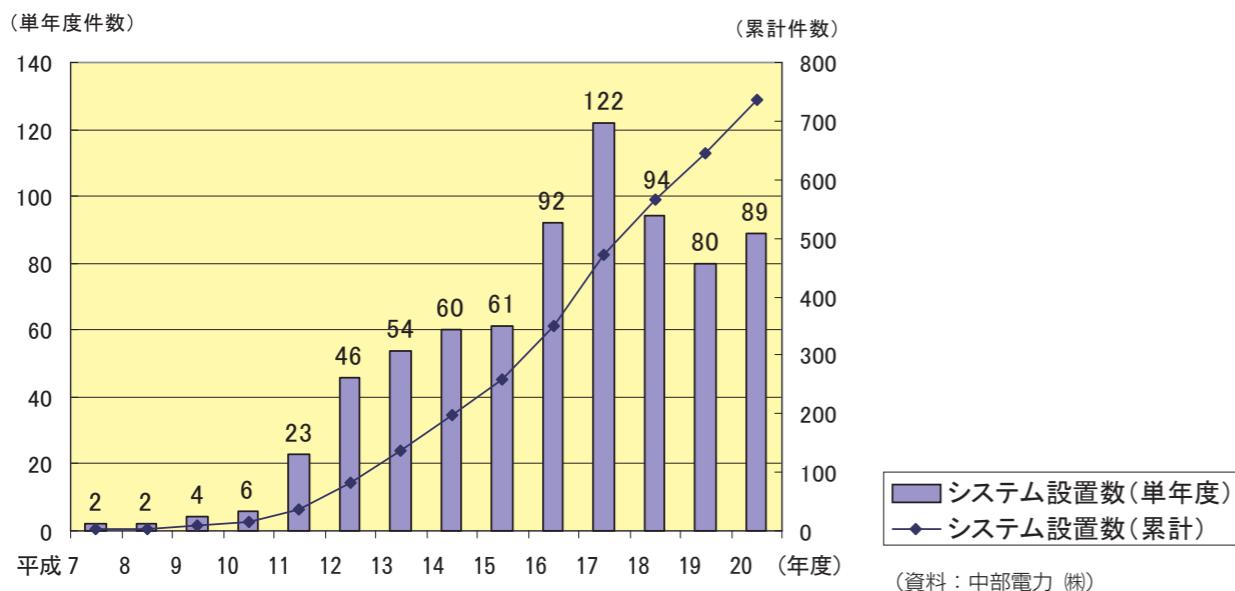
中部電力(株)と売電契約を締結した件数は平成20年度に89件あり、延べ設置件数は716件、設備容量は約2,511 kW(平成20年度末現在)となっている。

平成18年度からは、住宅用太陽熱高度利用システム報奨金制度も開始した。



住宅用太陽光発電システム

#### 市内太陽光発電システム設置件数推移



## 環境配慮型公共工事の推進

### ◆目的

公共工事において、建設廃棄物の再生材料の利用など、市が率先して環境負荷を低減するための配慮を徹底する。

### ◆長期目標

- ◎公共工事で使用する碎石及びアスファルトコンクリートの再生材料利用率を2020年までに98%にする。
- ◎公共工事で発生する土の再利用率を2020年までに98%にする。
- ◎熱帯木材製型枠に替わる型枠の使用率を2020年までに70%にする。
- ◎公共工事で使用する再生品(あいくる材)の率先使用を継続し使用工事件率を2020年までに99%にする。
- ◎総合評価落札方式の導入検討において、工事発注規模に適する簡易型を主に進める。

### ◆内容

・公共工事においては、建設廃棄物のリサイクル、建設発生土の搬出量抑制及び有効利用、熱帯木材製コンクリート型枠の使用抑制、あいくる材の利用、環境に配慮した構造・工法など計画段階から執行に至るまで環境に配慮したものとなるようにし、工事入札段階では、総合評価落札方式の導入を検討し、環境の保全及び省資源対策等の提案を評価要点に取り入れるように努める。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
公共工事で使用する碎石及びアスファルトコンクリートの再生利用率	%	93.0	碎石 99.0 アスファルト 99.6	碎石 96.0 アスファルト 97.0
公共工事で発生する土の再利用率	%	95.0	97.7	98.0
公共工事で使用する再生品(あいくる材)の利用率	%	96.0	100	98.0
公共工事の施工における環境配慮型建設機械の使用率	%	—	100	90.0

### ◆平成20年度の取組状況

平成20年度の総工事件数は498件あり、そのうち環境配慮項目が1,345件実施された。同時に、公共工事のコスト縮減対策が施され、環境面ではライフサイクルコストの低減及び工事における社会的コストの低減に配慮した工事を計画することとしている。この配慮の結果、平成20年度の総工事価格約90億5500万円のうち約7億円のコストが縮減された。(縮減率7.2%)

## 協 働

### 地域協議会「エコネットあんじょう」の設置

#### ◆目的

市民、市民団体、事業者、市が相互に連携し協働で環境保全を推進するための地球温暖化対策  
地域協議会を設立し、地球温暖化などに代表される地球環境問題や大気汚染、水質汚濁、ゴミの  
増加などの地域における環境問題を協働により解決することを目的とする。

#### ◆長期目標

◎この地域協議会が、計画策定された環境基本計画の具体的な施策を実際に市とともに推進していく組織として育つことをめざす。

#### ◆内容

・地域において地球温暖化対策に継続的、組織的に取り組むことを目的として市民、市民団体、  
事業者、市が相互に連携し協働で環境保全を推進するための地球温暖化対策地域協議会を設立  
する。「エコネットあんじょう」を発足する。

#### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
地域協議会設置数	協議会	0	1	1

#### ◆平成20年度の取組状況

##### エコネットあんじょうの活動支援

市との協働により、環境施策を実践する団体「エコネットあんじょう」の活動に対して、助成をしている。自然、美化、くらし、河川の4つの部会が様々な事業を展開した。

##### ●活動内容

- ・あんじょうエコカレッジ
  - ・環境講演会
  - ・安城市植樹祭
  - ・機関紙の発行
  - ・秋葉公園環境講座
  - ・川の生き物を探そう
  - ・安城の樹木調査会
  - ・公園の清掃活動
  - ・美化ウォーク
  - 「いきいきウォークラリー」
  - ・雑がみ分別の啓発運動
  - ・分別ソムリエ養成講座
  - ・ミニエコドーム事業
  - ・はんぱ川クリーン作戦
  - ・河川フォーラム
- など



雑がみ分別

はんぱ川クリーン作戦

### 市民による省エネ行動等エコライフの推進

#### ◆目的

市民によるエコライフを推進するため、各家庭での電気・水道等の使用量の削減を推進するキャンペーを行なうとともに、市民が工夫・実践するエコライフのコンテストを実施し、優秀なものを表彰し市民に紹介することにより環境意識の普及を図る。

#### ◆長期目標

◎エコライフキャンペーン及びコンテストの継続的な実施により、市民レベルでの省エネ、省資源に対する意識の定着化を図り、市全体における二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量削減につながることをめざす。

#### ◆内容

- ・各家庭での電気・水道等の使用量において、1年のうち最も使用量が増大する夏季の実績を前年度実績と比較し、削減できた家庭を募集するキャンペーンを毎年実施し、省エネの推進を図る。
- ・日頃から省エネ、省資源につながる行動を実践している市民から、エコライフのコツとなる事例を募集するコンテストを実施し、優秀事例を表彰するとともに広く市民に紹介することにより情報の共有化を図る。

#### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
エコライフキャンペーン実施回数	回／年	0	2	2
エコライフコンテストの実施	実施	未実施	実施済	実施済

#### ◆平成20年度の取組状況

##### エコライフキャンペーンの実施

水道使用量や電気使用量の削減に取り組むキャンペーンを実施

- |            |          |      |                       |
|------------|----------|------|-----------------------|
| 「節水にチャレンジ」 | 参加世帯81世帯 | 前年度比 | 274m <sup>3</sup> の削減 |
| 「節電にチャレンジ」 | 参加世帯81世帯 | 前年度比 | 1,748kWhの削減           |

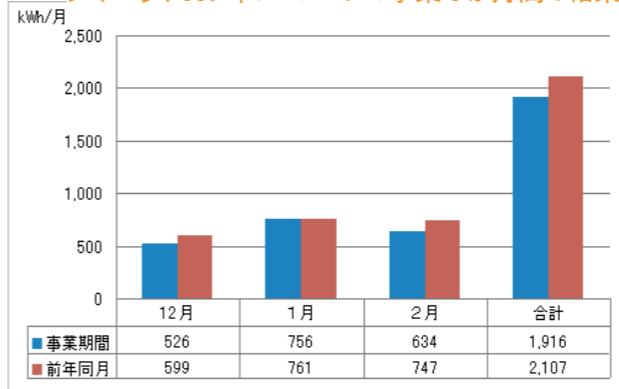
##### ダイエット30チャレンジモデル事業

使用している電力量を表示する「省エネナビ」という器機を配布し、「見える化」による省エネ行動を実践してもらうモニタリング調査を実施した。

269世帯の皆さんに実践してもらった。

3か月間の使用量合計世帯平均は1,916（月平均639）kWh/世帯。前年同月は2,107（月平均702）kWh/世帯であり、約9%の省エネとなっています。

##### ダイエット30チャレンジモデル事業 3か月間の結果



省エネナビ

## 環境アドバイザー派遣の推進

### ◆目的

環境アドバイザー派遣制度をあんじょう市民活動情報サイト等でPRし、学校・地域の団体に派遣し、環境学習を推進する。

### ◆長期目標

◎2020年までに環境アドバイザーを年間40回以上の派遣ができる体制づくりをする。

### ◆内容

- ・地域の環境活動の推進役として登録された環境アドバイザーを小中学校を始めとして町内会、市民自主グループ等の団体の要望に応じて派遣する。
- ・今後、環境アドバイザー同士の連携を深めるために定期的な連絡会等を行い、派遣の推進のために環境学習プログラムの充実を図る。
- ・環境アドバイザー派遣制度を市民に周知するためにホームページ、市民活動情報サイト、広報等でPRするとともに環境アドバイザー自身による機関紙の発行をめざす。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
環境アドバイザー派遣回数	回／年	7	52	50

### ◆平成20年度の取組状況

#### 環境アドバイザーの派遣

環境学習の講師として、小学校などに52回出向きました。  
また、環境アドバイザーの力量を高めるスキルアップ講座を開催しました。



環境アドバイザー（リサイクルプラザ）



スキルアップ講座

## 学校教育における環境学習機会の充実

### ◆目的

環境問題・環境保全に向けた研究や作品づくりを奨励し、そこから生まれた作品を「かがくのひろば展」や「教育展」「校内作品展」において展示し、環境意識を啓発する。

### ◆長期目標

◎2020年までに、環境問題・環境保全に関する児童生徒作品を100点以上展示する作品展（かがくのひろば展や教育展、校内作品展）を開催し、環境教育の一層の推進を図る。

### ◆内容

- ・児童生徒の身近な自然や社会現象などに目を向け、環境問題に気付かせ、その解決に向けて研究したり作品をつくったりすることにより、環境教育の一層の充実を図る。
- ・環境教育に関する作品展に向けて、総合的な学習の時間や教科指導を始め、全教育活動の中で総合的に取り組む。
- ・作品展については、学校だよりやホームページ等で家庭・地域に広報し、日ごろの学校での環境教育の取組を具体的に知ってもらう機会とする。

### ◆成果指標

成果指標名	単位	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	目標値 (2010年)
作品展示点数	点／年	0	138	100

### ◆平成20年度の取組状況

#### かがくのひろば開催

かがくのひろば（1月23日～25日、文化センター）にて環境作品の展示（小学校107点、中学校38点）。うち「かがく大賞環境賞」5点選出して作品展示。市村アイデア賞には環境作品181点応募。



家族で環境を考える（かがくのひろば）

1 かがやく水の恵みをうけて、  
花と緑のあふれるまち [共生]

2 健康で快適なくらしを  
未来に引き継ぐまち [循環]

3 自ら進んで地球環境を  
守るまち [地球環境]

4 みんなが参加し、考え、  
行動するまち [協働]

# 環境の現況と 望ましい環境像の実現に 向けた施策の実施状況



## I 環境の現況

## 1 土地利用

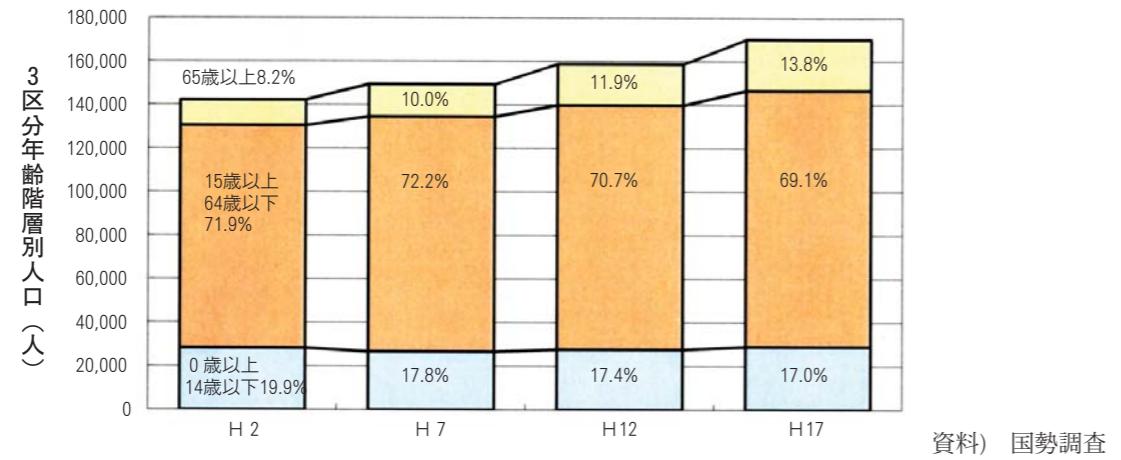
土地利用状況は、田畠が約50%、宅地が約25%となっており、市域のおおよそ半分が農地です。田畠の面積は、平成10年から20年までの10年間に、全市面積の約4%に相当する約3.2km<sup>2</sup> (324ha)が減少しています。市街化区域は、2,094haで市域の24.3%に相当します。人口集中地区面積は、市域の19.0%に当たる1,670haであり、人口は65.9%を占めています。

## 2 人口

人口は、平成21年4月1日現在179,547人（住民基本台帳、外国人登録）で、最近10年間で約2万人増加しています。

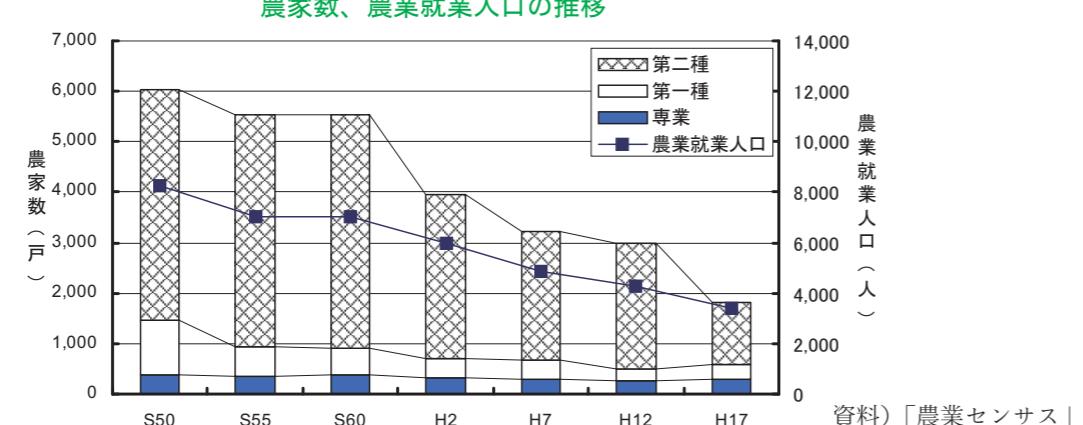
年齢階層別人口構成比率を見ると、年少人口（0～14歳）及び生産人口（15～64歳）の割合が減少し、65歳以上の老人人口の割合が増加しています。高齢化の進行は緩やかですが、将来的には少子化等の影響もあり、高齢化が進行すると予想されます。

安城市における3階層年齢別人口及び構成比率



## 3 農業

- 農家数、農業就業人口ともに減少しており、全農家数をみると、特に昭和60年以降の減少が大きく、経営形態別には第二種兼業農家の減少が目立っています。
- 地域内の農業振興のためには、環境に配慮した土地基盤の整備とともにスプロール化の防止が重要です。



## 4 河川・湖沼

市域には矢作川、高浜川、猿渡川の3水系に属する多数の中小河川に加えてかんがい用排水路があり、さらには江戸時代に海から切り離されてできた湖の油ヶ淵があるなどいくつかの性質の異なる水系を有しています。これらの水辺をより自然に配慮し適切に保全することで、さまざまな動植物が生息できる自然環境を創出していきます。

## 5 史跡・伝統的文化

二子古墳、安祥城址、本證寺などの貴重な史跡が数多く保存されています。三河万歳や棒の手などの伝統的文化が人々に親しまれ、伝承されています。

## 6 歴史・文化施設

矢作川流域の原始古代より近現代にわたる歴史・文化が学べる歴史博物館があります。丈山苑、丈山文庫、本證寺などが歴史・文化施設として保全、活用されています。歴史公園として安祥城址公園、丈山苑、弥厚公園があります。

## II 施策の実施状況

## (1) 田園景観の継承

## 基本的な考え方

広がる田園は安市のシンボルの1つです。「安城の原風景」の1つとして緑とうるおいのある田園風景を保全します。

## ① 田園景観の保全

農村地域における各種計画・事業の推進に当たっては、景観の保全に配慮します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
農地面積	4,033ha	3,899ha	3,840ha
農村総合整備事業木戸地区(23ha)進捗率	21%	100%	100%

## ② 農村環境整備と市街地との交流の促進

明治用水等を緑道の軸として位置づけ、都市部との交流を推進します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
花の木用水水路敷の上部利用整備	7.3km	8.0km	8.0km
緑道(自転車歩行者道)の整備	26.0km	27.0km	28.0km

## (2) 心地よい都市景観の創出

## 基本的な考え方

地域の個性を生かし、誰もが快適に感じる良好な景観を創造します。

## ① 美しい街なみの創造

景観を考慮した施策を推進し、良好な都市景観の維持・創造のための取組を支援します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
違反屋外広告物除却事業	4回／年	6回／年	6回／年
電線類地中化道路整備延長	1,240m	1,490m	2,800m
自転車等放置禁止区域内の指導員の巡回日数	294日／年	293日／年	294日／年
アダプト団体数	14団体	28団体	35団体
緑を守る団体数	115団体	132団体	132団体
環境美化活動（町内一斉清掃、530協賛事業）の実施回数	153回／年	271回／年	250回／年

## ② 気軽に歩ける道及びその周辺の整備

歩道や自転車専用道路、個性あふれる公園や広場の整備を推進し、だれもが気軽に安心して散歩に出かけ、快適に買い物することができる歩行者空間の整備を推進します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
西徳用水の上部利用歩行者自転車道整備	0km	0km	0.57km
桜井地区画整理事業に伴う都市公園整備数	0か所	3か所	5か所
桜井地区内都市計画道路の街路樹整備	0m	468m	2,000m
土地区画整理ウォーキングコース整備数	0コース	作野1コース	北部、作野各2コース

## ③ 環境に配慮した中心市街地の整備

JR安城駅周辺の中心市街地を活性化するための「中心市街地活性化基本計画」に基づき、環境に配慮した安城らしい街なみ形成を推進します。

## (3) 身近な緑の保全と創出

## 基本的な考え方

日常生活において身近に緑を感じ、うるおいとやすらぎのある空間を形成していくため、緑化を推進します。

## ① 公園や広場等の市民が憩う場の整備

個性あふれる公園や広場の整備を推進し、市民の憩いの場として活用します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
市民1人あたりの都市公園面積	7.03m <sup>2</sup>	7.00m <sup>2</sup>	7.35m <sup>2</sup>
木戸緑地の整備	0ha	0.9ha	0.9ha

## ② 緑が身近に感じられる場の創出

市民が緑に親しむことのできる場を創造するとともに、そこに生息する植物、動物にも配慮した緑の保全を推進します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
アン・ジョー米米フェスティバルの開催回数	0回／年	2回／年	2回／年
ワークショップ形式による公園整備数	19か所	29か所	31か所
花とみどりに関する講座及びガーデニングコンテストの開催回数	0回／年	1回／年	4回／年

## ③ 社寺の古木等の緑の保全

安城の緑のシンボルとして、旧東海道松並木や永安寺の雲竜の松、榎前のクロガネモチ等を保全します。

## (4) 多様な動植物と共生する水辺環境の創出

## 基本的な考え方

残されている水辺環境を保全し、さまざまな動植物が生息できて親しみがもてる自然環境を保全・創出していきます。

## ① 動植物に配慮した水辺環境の保全と改善

生息する動植物に配慮した水辺の整備を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
準用河川郷東川河道拡幅整備	250m	468m	460m
都市緑地整備面積	4.3ha	5.89ha	7.8ha
生活排水対策モデル地区指定・実施した町内会数	17町内会	21町内会	23町内会
各河川における水質の環境基準達成地点	6地点	12地点	10地点
水稻直播面積	250ha	324ha	500ha

## ② 市民が親しむことのできる水辺の整備

市民が親しみをもてる水辺を整備し、市民・事業者による水辺環境保全に関連した取組を支援します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
自然観察会開催数	2回／年	2回／年	2回／年

## (5) 歴史的・文化的環境資源の保全と継承

## 基本的な考え方

地域の歴史的・文化的環境資源を継承し、有効に活用しながら、環境に対する豊かな意識や知恵を育む文化の創造をめざします。

## ① 伝統的文化の継承と歴史的・文化的環境資源の保存

旧東海道松並木、明治用水、七夕まつり、三河万歳等の歴史的・文化的環境資源を保存し、次世代に伝承するためには有効に活用します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
指定文化財の指定件数	199件	207件	212件
市史発刊巻数	3巻	11巻	11巻

## ② 歴史・文化施設整備の充実とその活用の促進

歴史博物館、丈山苑等の歴史・文化に係る施設の充実及び有効活用を図ります。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
あおぞら歴史教室開催数	3回／年	3回／年	3回／年

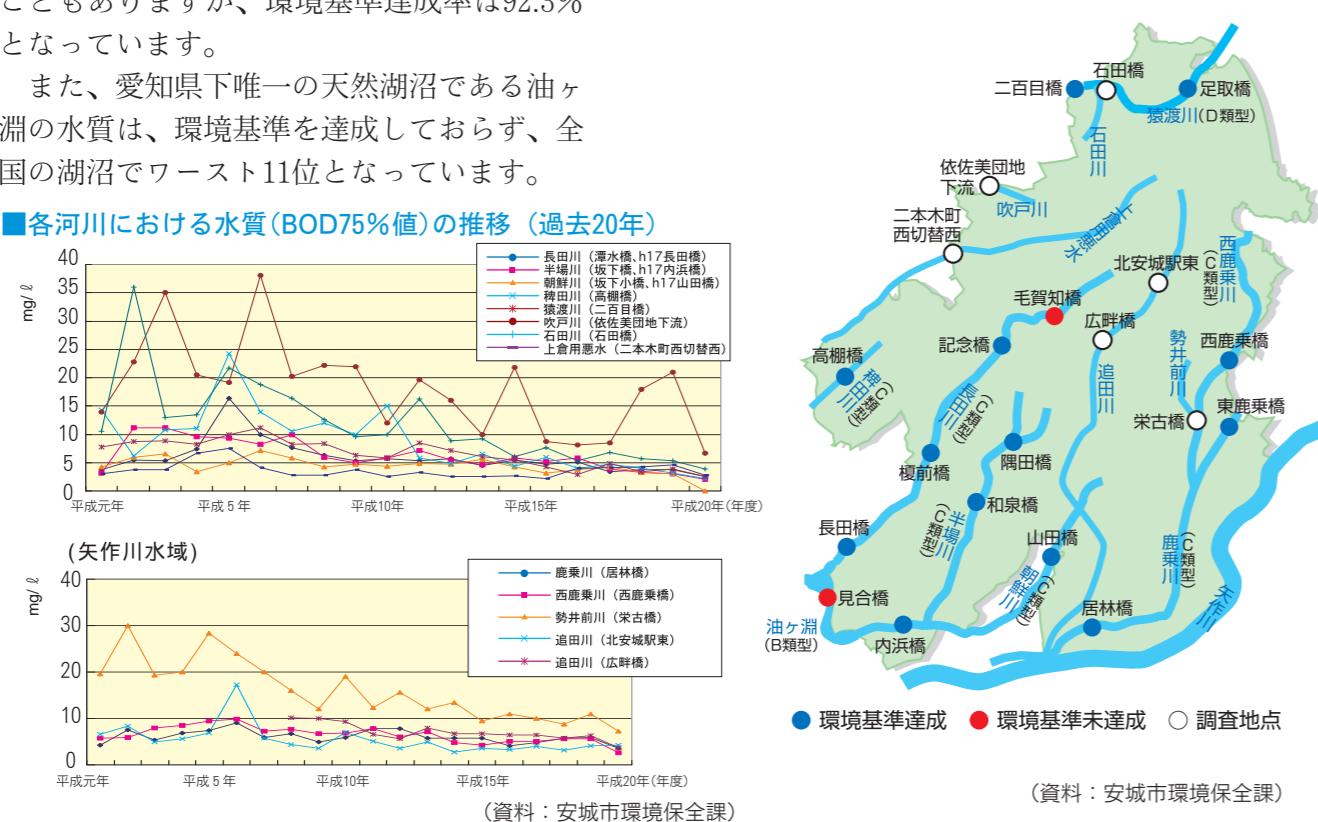
## I 環境の現況

## 1 水 質

平成20年度は、市内主要11河川26地点での調査の結果、「人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)」<sup>\*</sup>についてはすべての調査地点で環境基準を達成しています。

「生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目)」\*が設定されている7河川14地点の水質汚濁状況については、各年の降雨量によって上下することもありますが、環境基準達成率は92.3%となっています。

## ■各河川・湖沼における水質の状況（平成20年度）



※「人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)」  
有害物質に係る基準二　人の健康の観点による

\*「生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目)」

※「生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目)」  
水道、水産、工業、農業用水利用などの利用目的に応じた水域類型が設けられ、各々の水域ごとに基準が定められている。水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質量(SS)、溶存酸素量(DO)、大腸菌群数の5項目。

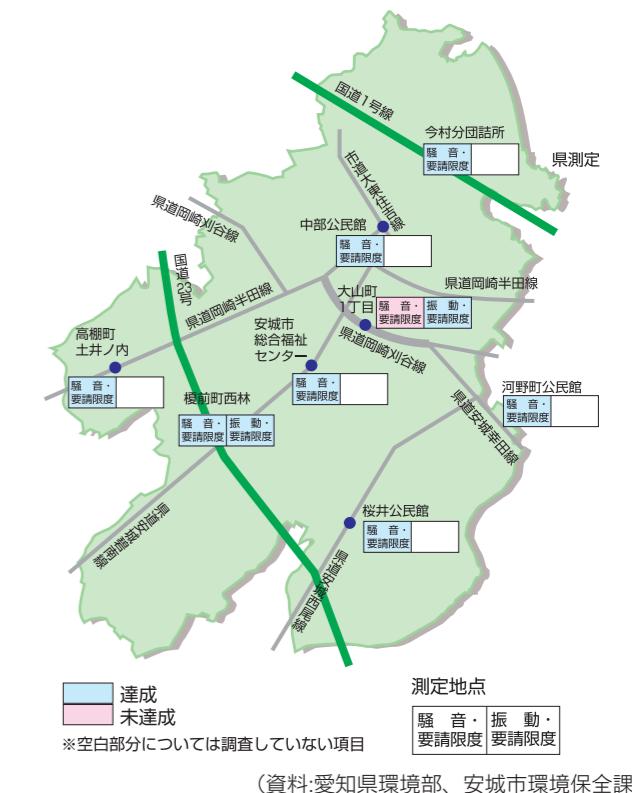
## 2 道路騒音・振動

本市の主要道路網は、自動車専用道路1路線、一般国道2路線、主要地方道9路線、一般県道12路線で構成されています。

平成19年度の道路交通騒音の測定では、主要地方道岡崎刈谷線において要請限度\*を超えていました。

一方、道路交通振動の測定では、2地点とも要請限度を達成しています。

## ■自動車騒音・振動の環境基準の達成状況（平成20年度）



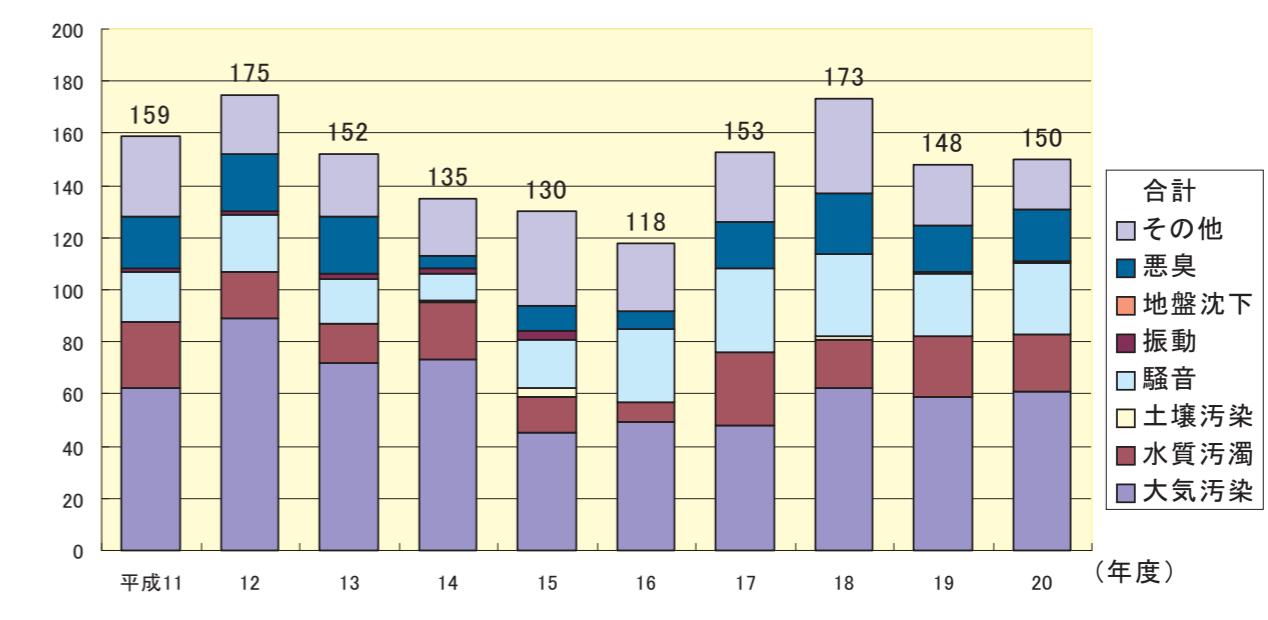
### 3 公害苦情

平成20年度に受付した公害苦情の中で多かったものは、野焼き・小型焼却炉からの黒煙、工場・事業所からの騒音、畜舎・堆肥からの悪臭、油流出事故、空地の雑草などです。

公害苦情件数の内、典型7公害に関するものが約9割であり、それ以外が約1割となっています。

(件数)

## ■ 公害苦情受付件数の推移（過去10年）



(資料：安城市環境保全課)

## 4 大気

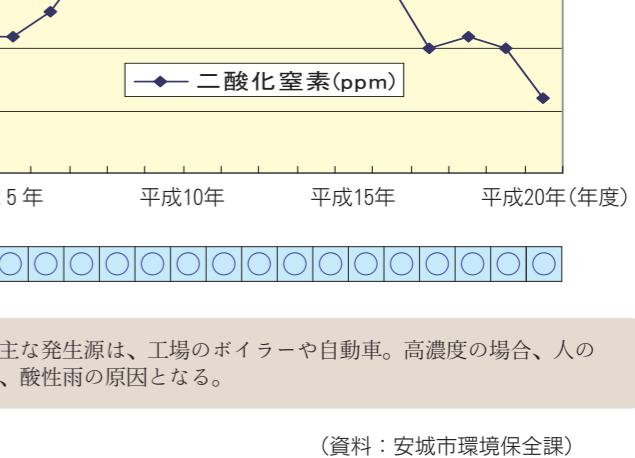
本市では、市内3か所の大気測定局があり、常時監視測定を実施しています。平成20年度は、二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)、二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)市内2か所の浮遊性粒子物質(SPM)については環境基準を達成しています。光化学オキシダント(Ox)については環境基準を達成していません。

■大気汚染環境基準の達成状況(平成20年度)

■二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>) (年間平均)の推移(過去30年)

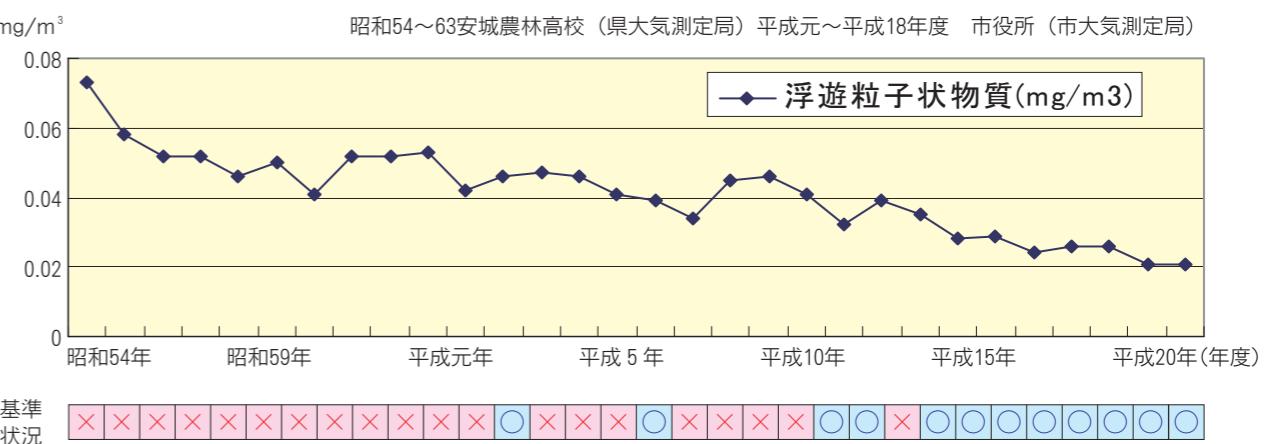
硫黄分を含む石炭や石油などの燃焼により発生する。ぜんそくなど呼吸器系疾患の原因となったり、酸性雨の原因となる。最近は重油の低硫黄化などが進められ、汚染濃度は低下している。

(資料: 安城市環境保全課)



(資料: 安城市環境保全課)

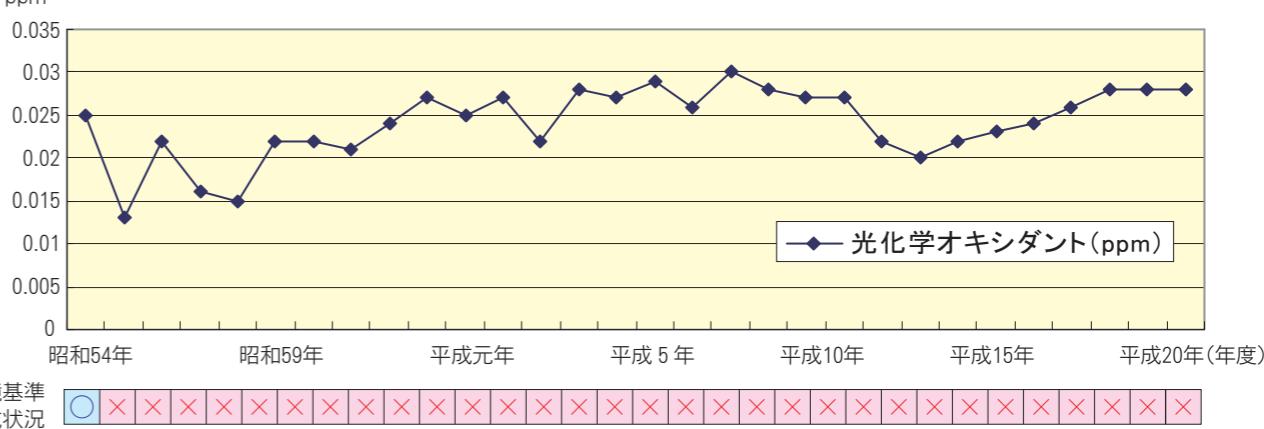
■浮遊粒子状物質(SPM) (年間平均値)の推移(過去30年)



大気中に浮遊する粒径0.01mm以下のものをいい、高濃度で、呼吸器に悪影響を及ぼす。工場などから排出されるばいじんや、破碎・選別・堆積によって発生する粉じん、ディーゼル車の黒煙など直接放出されたり、硫黄酸化物や窒素酸化物等が粒子状に変化して生成される。

(資料: 安城市環境保全課)

■光化学オキシダント(Ox) (年間平均値)の推移(過去30年)



窒素酸化物や炭化水素などが太陽光の紫外線を受けて光化学反応を起こすことにより生成する。高濃度の場合、人の目やのどへの刺激や呼吸器、また、農作物にも影響を及ぼす。晴れた日中に多く発生し、夏期を中心に光化学スモッグを引き起こす。

(資料: 安城市環境保全課)

## 5 降雨pH、悪臭、ダイオキシン類など

平成20年度の雨水のpH測定値は年12回平均で4.6であり、今後、酸性雨による影響が懸念されています。

平成20年度の悪臭苦情20件の内訳は、農業(堆肥)が最も多く、次いで工場の順となっています。また、市内2畜舎において実施した調査では悪臭物質濃度は規制基準以下です。

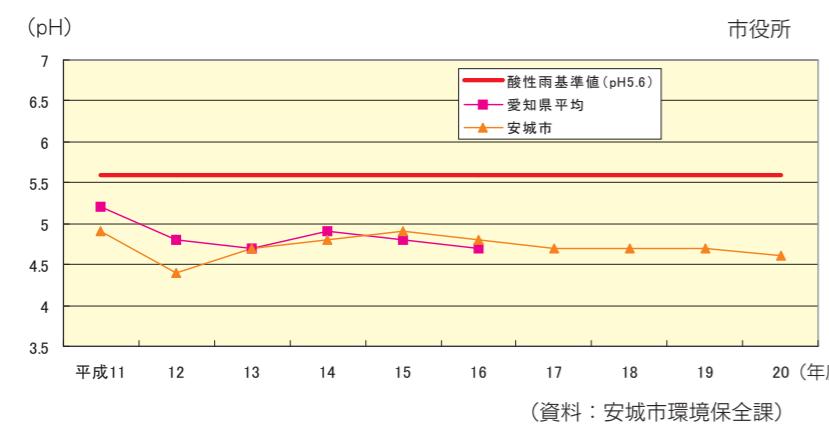
土壤汚染及び地盤沈下に関して、環境調査からは特に問題は見られません。

平成20年度の一般環境中におけるダイオキシン類\*調査では、環境基準の設定されている水質・土壤について、いずれも環境基準を達成しています。

安城市環境クリーンセンターのばい煙中におけるダイオキシン類\*調査では、厚生労働省ガイドライン値を達成しています。

市民の健康の保護と生活環境の保全を図ることを目的として、43企業49工場と公害防止協定\*を締結しています。

### ■酸性雨調査結果(年間平均値)の推移(過去10年)



### ■市内のダイオキシン類の調査地点



### ■市内におけるダイオキシン類の調査結果(平成20年度)

調査区分	環境基準	鹿乗川 (秋葉下橋)	長田川 (毛賀知橋)	半場川 (赤松町西ノ山付近)	
水環境	水質(pg-TEQ/l) 底質(pg-TEQ/g)	1以下 150以下	0.26 1.1	0.11 1.1	0.046 2.4
土壤環境(pg-TEQ/g)	環境基準	みのわ保育園	東部公民館	八剣神社	
		1,000以下	1.0	0.00081	6.3

(資料：安城市環境保全課)

調査区分	調査地点	環境基準	春季	夏季	秋季	冬季	平均
大気環境 (pg-TEQ/m³)	安城農林高校	0.6以下	0.014	0.016	0.040	0.054	0.031

1 pg(ピコグラム)=1兆分の1g

(資料：愛知県環境部)

### ■環境クリーンセンター(市の管理するごみ焼却施設)のダイオキシン類調査結果(平成20年度)

#### ○安城市環境クリーンセンターの概要

運転開始日：平成9年3月20日 焼却能力：240トン／日(120トン／日×2基)

調査区分	抑制基準	測定値	
大気環境 (ng-TEQ/m³) 安城市環境クリーンセンター	厚生労働省ガイドライン0.5以下 (平成14年12月から適用新基準) (平成9年12月2日以降の新設炉0.1以下)	1号炉 2号炉	0.00021 0.0000021

1 ng(ナノグラム)=10億分の1g

(資料：安城市環境保全課)

\*ダイオキシン類：ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン(PCDD)とポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)及びコブラナーPCBを総称してダイオキシン類と呼びます。ダイオキシン類の毒性は、一般毒性、発がん性、生殖毒性、免疫毒性など多岐にわたっています。  
※公害防止協定：地方公共団体が、企業に対し、大気等の公害防止及び環境保全のための条件について、企業自らが社会的責任を果たしてもらうため協議し相互の合意形成により取り決めたもの。

## 6 ごみ排出量とリサイクル率

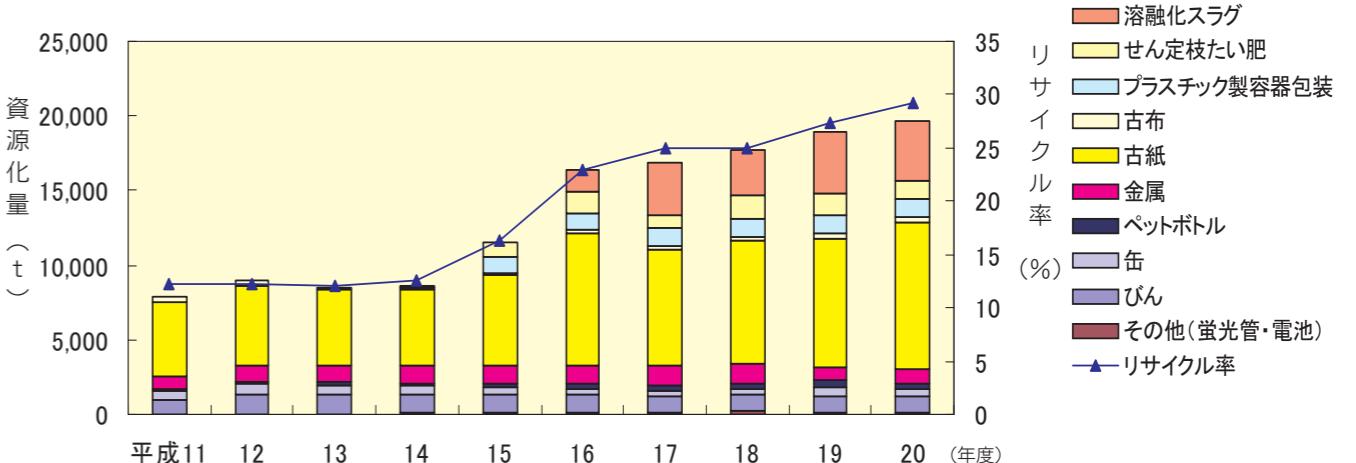
平成20年度、市が処理したごみ(一般廃棄物)の量は62,212トンで、市民1人1日当たりの量は988グラムでした。平成19年度と比べると、ごみの総量と市民1人1日当たりのごみの量は共に減少しました。

リサイクル率は近年、12～15%程度で推移していましたが、平成16年度に焼却灰の溶融スラグ化とリサイクルステーションの拡大により、22.9%まで上昇しました。平成20年度から古紙の分別収集を開始し、平成20年度の資源化量は19,651トン、リサイクル率は29.1%、平成19年度と比べ、増加しました。

一方、ごみ処理経費は約44億2千万円となり、平成17年度と比べて約12億7千万円の増加となりました。市民1人当たりの金額で換算すると24,643円となります。

(ごみ処理費の増大は、環境クリーンセンターの大規模改修ほか、臨時の工事費などによるものです。)

### ■資源化量とリサイクル率の推移



## II 施策の実施状況

(6) 水資源の保全及び河川・湖沼の水質浄化			
基本的な考え方			
河川や油ヶ淵については、水質汚濁を改善し、将来にわたって親しみのもてる水辺を残します。			
① 水資源の確保と水の安定供給			
成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
浄化槽雨水貯留施設転用事業転用件数	12件／年	13件／年	30件／年
② 油ヶ淵の浄化対策の推進			
流入河川対策事業並びにしゅんせつ等により油ヶ淵の水質浄化の推進を図ります。			
成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
準用河川切間浄化施設	1 施設	1 施設	1 施設
油ヶ淵流域の下水道普及率及び水洗化人口	40.6% 15,800人	60.1% 28,865人	63% 34,000人
油ヶ淵浄化デー開催回数	1回	1回	1回
③ 河川浄化施設の整備等の推進			
下水道整備事業並びに合併処理浄化槽の普及を推進し、河川浄化施設の整備と合わせて、公共用水域の水質浄化をめざします。			
成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
下水道普及率及び水洗化人口	54.1% 73,500人	66.6% 101,305人	71% 103,000人
④ 生活排水対策推進等による公共用水域の水質浄化			
公共用水域の水質に関する各種調査やイベント等を行います。			
成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
生活排水対策モデル地区指定・実施した町内会数	17町内会	21町内会	23町内会
下水道の日キャンペーン	1回／年	1回／年	1回／年
(7) 道路交通環境対策の推進			
基本的な考え方			
車社会の発展により、利便性が向上した反面、環境が悪化し、静けさや澄んだ空気が失われています。国道23号・主要地方道岡崎刈谷線などの幹線道路沿線における環境影響を緩和します。道路交通騒音・振動の環境基準・要請限度を達成します。			
① 沿道の騒音・振動対策の推進			
幹線道路における騒音・振動に係る環境対策を推進します。			
成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
環境基準達成率（大気・土壤・騒音等）	90%	90%	90%
桜井地区内の都市計画道路供用開始率	0%	35.0%	50%

### ② 自動車使用頻度等の削減による環境負荷の軽減

自動車使用頻度の削減及び環境に配慮した車の使い方の普及、啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
あんくるバス利用者数	265,792人／年	274,363人／年	291,000人／年
レンタサイクル事業のサイクルポート数	3 か所	9 か所	10 か所
庁用車の低公害車・低燃費車率	14.7%	41%	100%
都市計画道路整備率	66.4%	71.8%	72.1%
市営駐輪場の収容台数	4,090台	4,634台	5,279台
鉄道立体交差箇所（桜井駅周辺等）	0 か所	1 か所	3 か所
明治用水緑道の利用者の割合	—	—	47%

### (8) 良好な生活環境の保全

#### 基本的な考え方

典型7公害（大気汚染、水質汚濁、土壤汚染、騒音、振動、地盤沈下及び悪臭）に係る環境基準及び関連規制を満たし、災害に強く、安全で安心して過ごせるまちにしていきます。

#### ① 大気汚染と悪臭発生の防止

定期的に調査を行い、情報を公開し、対策を講じます。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
公害苦情件数	130件／年	150件／年	118件／年
② 土壤汚染と地盤沈下の防止			

定期的に調査を行い、情報を公開し、対策を講じます。

#### ③ 有害化学物質等の管理徹底

情報を適正に把握し、開示に努めます。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
年間散布用消毒薬剤	油剤9,500ℓ 水和剤105,800g 殺鼠剤34,400g	油剤4,482ℓ 水和剤25,365g 殺鼠剤0g	油剤4,320ℓ 水和剤12,000g 殺鼠剤0g

#### ④ 浸水・洪水対策の実施

水害対策を行い、安全で安心できるくらしを確保します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
調整池・遊水地容量	133,180m <sup>3</sup>	304,730m <sup>3</sup>	370,000m <sup>3</sup>
ハザードマップ作成	未策定	策定	策定
公共施設駐車場等透水性舗装設置箇所	8 か所	11 か所	11 か所

## (9) 環境配慮型ライフスタイルの推進

## 基本的な考え方

豊かな現代生活において、本当に必要な豊かさは何かという観点から、ライフスタイルを見直し、環境負荷の少ない商品の積極的な購入やリフューズ・リデュース・リユース・リサイクル(4R)の定着化に取り組んでいきます。

## ① グリーン購入の推進

グリーン購入を促進し、広く啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
府内におけるグリーン調達率	89%	98%	98.5%

## ② 環境配慮型産業の推進

事業者の環境保全型産業の育成及び環境保全のための自主的な取組への支援を図ります。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
環境配慮企業立地促進補助申請件数	0 件	4 件	5 件

## ③ リフューズ・リデュースの促進

ごみ問題に関する情報を公開し、ライフスタイル転換を含めたごみの減量化に対する意識啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
エコライフひろめ隊世帯数	124世帯	180世帯	250世帯
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	739g	712g	640g

## ④ リユース・リサイクルの推進

リサイクル拠点の設置等によりリサイクルシステムを確立し、意識啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
燃やせるごみの中の資源物重量割合	13%	18%	8 %
資源回収とりサイクルステーションの回収量	7,557t／年	8,578t／年	8,500t／年
市内のごみ減量推進店	100店	95店	120店

## ⑤ ごみの適正な処理の徹底

ごみの適正な処理を行い、そのための啓発を広く行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
家電4品目の不法投棄台数（台）	552台／年	402台／年	532台／年

## (10) 環境保全型農業の推進

## 基本的な考え方

農業の自然循環機能を生かしながら、環境の保全と生産性の維持・向上との調和が可能な「環境保全型農業」を推進します。

## ① 環境保全型農業の推進

農業の持つ物質循環機能を生かし、化学肥料・農薬等の使用を抑制し、環境負荷の軽減に配慮するとともに、輪作体系、環境配慮型防除方法の採用、有機資源リサイクルといった取り組みを支援します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
農薬、化学肥料の使用量の削減率	農薬27.2% 化学肥料25.7%	農薬28.6% 化学肥料33.6%	農薬30% 化学肥料30%
せん定枝堆肥化量	1,480t／年	1,622t／年	1,500t／年

## ② 環境保全型農法で生産された農産物のブランド化及び購入促進

市民・市民団体・事業者・市が協力して自然環境に配慮した生産活動を行うとともに、地元農産物の積極的購入等による農業振興の啓発を図ります。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
給食における地元農産物の購入割合	40%	42%	40%
アン・ジョー米米フェスティバルの開催回数	0回／年	2回／年	2回／年



## I 環境の現況

### 1 本市の温室効果ガス排出量

本市の温室効果ガスの排出量は、平成2年度の1,478千t-CO<sub>2</sub>/年から、平成17年度の1,754千t-CO<sub>2</sub>/年へと、この間に約19%増加しています。

人口一人当たりの温室効果ガス排出量を見ると、平成2年度の11.0t-CO<sub>2</sub>/年から、平成13年度の11.4t-CO<sub>2</sub>/年へと、約4%増加しています。

二酸化炭素排出量を部門別に見ると、平成13年度でも産業部門が60%を超えており、非常に大きくなっています。ただし、比率は平成2年度の68.5%から小さくなっています。他の部門での増加が大きいことがわかります。

#### ■安城市における温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）

単位：排出量(千t-CO<sub>2</sub>)、構成比(%)、一人当たり(t-CO<sub>2</sub>/人)

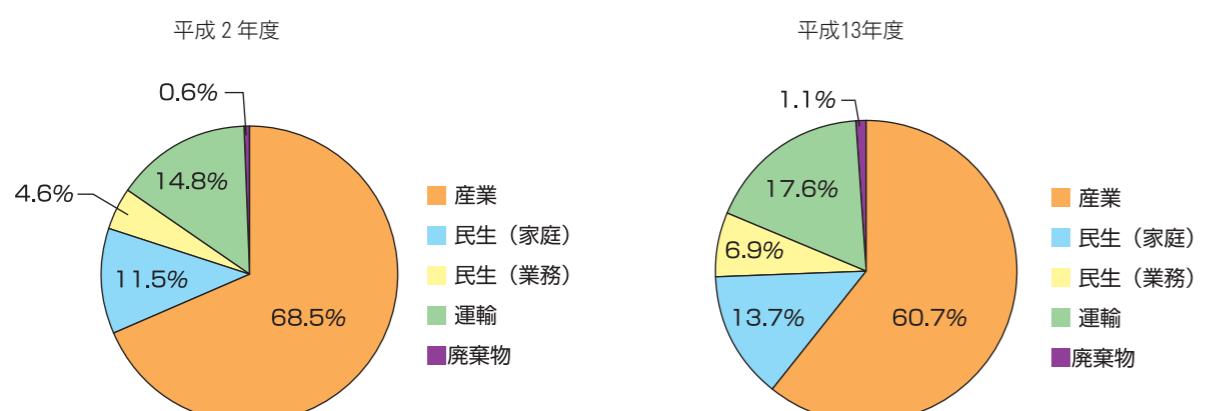
対象物質	平成2年度(1990年)		平成9年度(1997年)		平成13年度(2001年)	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比
二酸化炭素 CO <sub>2</sub>	1,507	96.60	1,698	96.70	1,796	96.82
メタノン CH <sub>4</sub>	15	0.96	14	0.80	6	0.32
亜酸化窒素 N <sub>2</sub> O	9	0.58	10	0.57	13	0.70
ハイドロフルオロカーボン HFC	15	0.96	19	1.08	22	1.19
パーフルフルオロカーボン PFC	14	0.90	15	0.85	18	0.97
六氟化硫 SF <sub>6</sub>	...	...	...	...	...	...
合計	1,560	100.00	1,756	100.00	1,855	100.00
人口一人当たり排出量	11.0	...	11.4	...	11.4	...

注) 平成2年度のHFC、PFCに関しては、平成7年度の値を記載。

注) 平成2年度、平成9年度の排出量は、二酸化炭素排出係数等の変更により前計画書から変更。

(出典：安城市環境基本計画)

#### ■安城市における部門別二酸化炭素排出割合 平成2年度と平成13年度の比較



(出典：安城市環境基本計画)

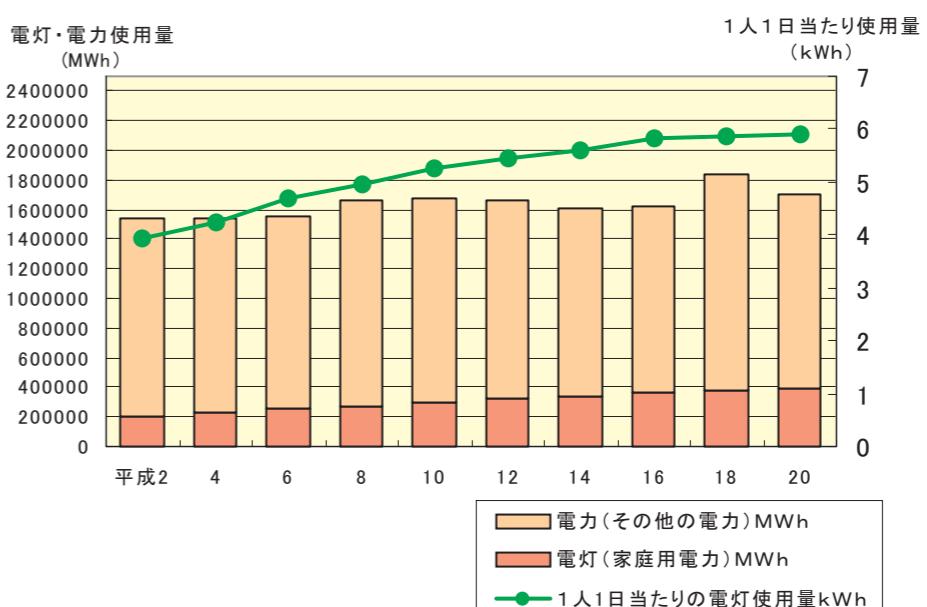
### 2 エネルギー等消費量

近年、市内の電力(家庭用電力以外の電力)使用量、電灯(家庭用電力)使用量は両方とも増加しています。平成20年度では、平成2年度に比べ10.0%増加しています。また、市民1人1日当たりの電灯使用量については、平成2年度に比べ49.4%増加しています。

都市ガスに関しては、平成2年度の年間1,151万m<sup>3</sup>から平成19年度の11,193万m<sup>3</sup>へ約9.7倍と著しく増加しています。

上水道の配水量は、普及人口及び戸数の増加に伴い、やや増加傾向にあります。

#### ■市内の電灯(家庭用電力)・電力(その他の電力)使用量の推移



資料) 安城市及び愛知県；中部電力、全国；「日本統計年鑑」

### 3 市役所の率先行動

市役所では、平成12年度にISO14001の認証を取得し、省エネルギー・省資源を始め、環境に関する幅広い管理を行っています。

平成10年10月に「地球にやさしい環境都市」を宣言し、本市が行う事務事業において、環境負荷低減のための率先行動を積極的に推進しています。平成12年4月に「ISO14001(※)」の認証を取得し、平成14年3月には「安城市役所地球温暖化対策実行計画」を策定し、「ISO14001」の認証を取得していない施設においてもこの計画を推進しています。

市で行う事務・事業の中でも、特に公共工事の実施について、環境配慮を徹底しています。

すべての公共工事において「公共工事計画環境配慮手順書」に基づき環境に配慮しています。おもな環境配慮項目としては、工事におけるリサイクルの推進・環境改善、施設の省資源・省エネルギー化、施設の耐久性の向上(長寿命化)、環境と調和した施設への転換があります。

※ISO14001：国際標準化機構(ISO)が発行した環境管理システムの国際規格で、各事業主体が自主的に環境負荷を低減させるための数値目標や計画を定めて運用し、外部審査機関による認証を取得するシステムです。安城市役所は、継続的な環境の保全と改善に取り組むため、平成12年4月25日にISO14001の認証を取得しました。

## II 施策の実施状況

(11) 地球温暖化防止対策の推進			
基本的な考え方			
一人ひとりの小さな行動が地球全体の温暖化に影響をおよぼしていることを認識し、地球温暖化防止に配慮した行動に努めています。			
① エネルギー消費量の削減 市の率先行動の実施と、市民・市民団体・事業者の意識啓発を行います。			
成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
市施設から排出される温室効果ガスの総排出量(二酸化炭素換算値)	27,108t	25,840t	24,397t
地域協議会設置	0 協議会	1 協議会	1 協議会
② 新エネルギー・未利用エネルギーの積極活用の推進 公共施設においては積極的に新エネルギー・未利用エネルギーを採用し、かつ市民に広く働きかけます。			
成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
市内における太陽光発電設備容量	1,204kW	2,511kW	2,890kW
太陽光発電の設置してある公共施設	4 か所	11か所	11か所
水力発電設備発電量	0 kWh	216,218kWh	317,000kWh
太陽光、風力発電設備併用型照明機器設置数	0 基	14基	14基

(12) 地球環境保全に貢献			
基本的な考え方			
オゾン層の破壊、酸性雨、熱帯林の減少等の複雑で多様な地球環境問題に対する情報、知識を備え、その防止に向けて積極的に取り組んでいきます。特に、公共工事の実施に当たっては、環境負荷を低減するための配慮を徹底し、市民・事業者にも広く啓発していきます。			
① 環境配慮型公共工事の推進 公共工事の実施に当たっては、環境負荷を低減するための配慮を徹底します。			
成果指標名	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
公共工事で使用する碎石・アスファルトコンクリートの再生利用率	93%	碎石：99.0% アスファルト：99.6%	95%
公共工事で発生する土の再利用率	95%	97.7%	95%
公共工事で使用する非熱帯材併用型・金属及びプラスチックの代替型及び軽用型枠の使用率	62%	64.1%	65%
公共工事で使用する再生品(あいくる材)の利用率	96%	100%	98%
公共工事の施工での環境配慮型建設機械の使用率	—	100%	90%
② オゾン層の保護等、地球規模の環境問題に対する取組 オゾン層破壊、酸性雨、熱帯林の減少、砂漠化の進行など、地球規模の環境問題に対して率先して取り組み、情報提供と防止意識の啓発を行います。			
成果指標名	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
学校等公共施設における間伐材利用施設	2 か所	8 か所	10か所



## I 環境の現況

## 1 市民・市民団体の活動及び参加

道路や公園、河川などの公共施設の環境美化をすすめるボランティアによるアダプト団体やホタルの住めるせせらぎづくり等、市民主体による環境関連活動が成果を伴って進められています。



アダプト団体▶

## 2 広域的な連携

衣浦東部や西三河地域の周辺市と広域的な連携を図っています。

姉妹都市及び友好都市との間に、交換留学等の市民レベルからの交流を図っています。

## 3 環境情報の公開

市民参加型の環境調査やイベントが行われています。

安城市の環境の状況並びに環境の保全や創造に関して講じた施策をまとめた「安城市環境報告書」を年1回発行しています。

広報あんじょうや市ホームページ「望遠郷」及びさまざまなイベントを通じて、環境情報を提供しています。



どんじゃらまつり▶

## 4 環境学習

市内小中学校では、総合的な学習の時間を使って自然環境調査、ごみ問題、地球環境問題などさまざまな取り組みが行われています。また、国道23号美化活動、油ヶ淵清掃活動、学区クリーン作戦などの活動が実施されており、環境学習の実践の場となっています。

公民館を始めとする生涯学習関連施設では、多くの環境講座を開催しています。

環境講座▶



## II 施策の実施状況

## (13) 市民・事業者・市のパートナーシップの形成

## 基本的な考え方

市民・市民団体・事業者・市のそれぞれが自発的に努力し、良好なパートナーシップを構築することにより、積極的に環境保全に取り組んでいけるまちにしていきます。

## ① 良好的なパートナーシップの形成

環境NGO、NPO※などの環境関連団体や地域コミュニティ形成を支援し、市民・市民団体・事業者・市のより強い信頼関係を構築します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
環境関連イベント開催回数	3回	1回	4回
環境学習開催数(園児)	2回／園・月	6回／園・月	4回／園・月
環境学習開催数(児童)	7回／年	14回／年	14回／年
協働講座の実施団体数 開催数	3団体 11講座	11団体 15講座	12団体 20講座
環境アドバイザー登録人数	40人	45人	80人
広報紙への環境情報掲載件数： インターネットによる環境情報の発信回数：	105件／回 17回／年	138件／回 24回／年	110件／回 20回／年
地域協議会設置	0協議会	1協議会	1協議会
省エネ講座開催数	2回／年	6回／年	2回／年
エコライフキャンペーン実施回数	0回／年	2回／年	1回／年

## ② 市域を越えた広域的連携の強化

衣浦東部あるいは矢作川水系等については、広域的な連携を強化し、有効的・効率的に事業を推進します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
川と海のクリーン大作戦開催数	1回	1回	1回
あんじょう市民活動情報サイトの登録団体数	0団体	275団体	300団体

※環境NGO、NPO：環境に関するさまざまな非営利活動を行う非政府、民間の組織のことです。

## (14) 環境情報の共有化

## 基本的な考え方

誰もが容易に正確な情報を取得できるシステムづくりにより、環境に配慮した取り組みを積極的に進められるまちにします。

## ① 環境問題に関する意識啓発の推進

さまざまな環境問題に対する市民の意識向上を図るとともに、情報の共有化を目的とした啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
保育園だより等による啓発回数	2回／園・年	4回／園・年	3回／園・年

学年だより等による啓発学校数	5校	23校	29校
出前講座学校数	0校／年	7校／年	7校／年
エコライフキャンペーン実施回数	0回／年	2回／年	2回／年
エコライフコンテスト実施	未実施	実施済	実施

② それぞれの主体間における環境情報交換の活性化  
市では環境資源に関するインターネットのホームページを整備するなど、多様な主体から情報を発信・受信できる体制を確立させ、環境情報の共有化を推進します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
環境報告書作成・発行回数	1回／年	1回／年	1回／年
環境保全講習会の開催回数	1回／年	1回／年	1回／年

### (15) 環境教育・学習の推進

#### 基本的な考え方

地域から全市、こどもからお年寄り、場所や世代にかかわらず、すべての人が積極的に学習機会を得られるように努力をし、学習結果が行動に結びつくまちにしていきます。

① 環境学習拠点等の整備  
環境教育の学習機会拡充を目的として、学習拠点のネットワークを充実させていきます。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
教員研修会開催回数	1回／年	4回／年	4回／年
せせらぎ、ビオトープ数	12校	18校	18校
こどもエコクラブの登録団体数	23団体	21団体	25団体
環境面を重視した事業の採択学校数(累計)	2校	14校	20校

② 環境学習の積極的推進  
環境関連イベントの開催や、歴史文化施設の有効活用を行い、環境学習の推進に関する啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2008年)	最終目標値 (2010年)
中学生の収集作業体験学習受け入れ数	10	8	24
環境アドバイザー派遣回数	7	50	50
社会人活用回数	20	69	60
自然教室実施学校数	28	29	29
環境問題・環境保全に関する作品展示数	0	145	100
食育教室の開催回数	3	9	10
保育園、幼稚園版ISO14001取組園数	0	0	27
全体計画作成学校数	0	23	29

## ◆ 環境マネジメントシステム (ISO14001) 部門別実行計画達成状況

## ◆ 平成21年度 環境関連事業予算一覧

## ◆環境マネジメントシステム（ISO14001）部門別実行計画 達成状況

市役所の組織活動にともなう環境への影響を継続的に改善していくため、市では、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO 14001 を認証取得し、運用しています。

具体的には、環境基本計画を推進するための目標を各課が設定し、P D C A サイクルを回しながら、取り組みを進めています。平成20年度に目標として掲げた取り組みの達成状況について公表します。

### かがやく水の恵みをうけて、花と緑のあふれるまち【共生】

環境目標	平成20年度目標	平成20年度実績	達成	平成21年度目標	担当課
田園景観の継承	アン・ジョー米米フェスティバルの開催を2回支援する	2回支援	○	アン・ジョー米米フェスティバルの開催を2回支援する	農務課
	市民等による清掃活動29団体（アダプトプログラム）を支援する	28団体を支援	×	未達成の理由は、登録予定団体の自体によるもの、今後は制度理解のためのPRを実施する 市民等による清掃活動30団体（アダプトプログラム）を支援する	ごみ減量推進室
心地よい都市景観の創出	景観を害する屋外広告物を年6回除去する	6回除去	○	景観を害する屋外広告物を年6回除去する	維持管理課
	電線類共同溝工事を実施する	計画どおり	○	御幸本上条線、御幸本1号線の電線類共同溝工事の実施	土木課、都市計画課
西徳用水上部の遊歩道を整備する	西徳用水上部の遊歩道を整備する	計画どおり	○	西徳用水上部の遊歩道を整備する	区画整理課
	ウォーキングコースを整備する	計画どおり	○	－	区画整理課
桜井駅前線等の街路樹を整備する	桜井駅前線等の街路樹を整備する	未整備 施行年次変更	×	未達成の理由は、県道整備の遅れによるもの、H21年度に工期延期 桜井駅前線等の街路樹を整備する	区画整理課
	南明治地区の老朽住宅を除却する	計画どおり 23戸除却	○	南明治地区の老朽住宅を12戸除却する	市街地整備課
市民協働によるまちづくり協議会を支援する	市民協働によるまちづくり協議会を支援する	計画どおり	○	市民協働によるまちづくり協議会を支援する	市街地整備課
	1号緑地まちづくり委員会の意見を反映させた駅舎周辺を整備する	計画どおり	○	－	区画整理課
1号緑地まちづくり委員会の意見を反映させた駐輪場を整備する	1号緑地まちづくり委員会の意見を反映させた駐輪場を整備する	計画どおり	○	－	区画整理課
	名鉄西尾線鉄道立体交差事業を完成させる	計画どおり	○	－	区画整理課
桜井駅駐輪場を整備する	桜井駅駐輪場を整備する	計画どおり	○	－	区画整理課
	桜井5号公園を整備する	計画どおり	○	桜井7号公園を整備する	公園緑地課
公園愛護会及び街路愛護会の活動を奨励する	公園愛護会及び街路愛護会の活動を奨励する	計画どおり 122団体	○	公園愛護会及び街路愛護会の活動を奨励する	公園緑地課
	みどりのカーテンコンテストを実施する	計画どおり	○	－	環境首都推進課
公共施設等を緑化する	公共施設等を緑化する	計画どおり 高木35本、低木1500本	○	－	公園緑地課
	多様な動植物と共に共生する水辺環境の創出	計画どおり 各1か所	○	多自然型工法により郷東川を整備する	土木課

## 健康で快適なくらしを未来に引き継ぐまち【循環】

環境目標	平成20年度目標	平成20年度実績	達成	平成21年度目標	担当課
水資源の保全及び河川・湖沼の水質浄化	水資源保全に関する広報啓発をする	計画どおり 年2回	○	節水意識の啓発広報を掲載する	水道業務課
	下水道施設の整備延長を20,100mにする	24,403m整備	○	下水道施設の整備延長を25,900mにする	下水道建設課
	下水道事業説明会を10回開催する	18回開催	○	下水道事業説明会を16回開催する	下水道管理課
	水洗化人口を94,000人にする	105,885人	○	水洗化人口を98,500人にする	下水道管理課
	下水道の日PR・街頭啓発活動を実践する	計画どおり 1回実施	○	街頭啓発活動の実施	下水道管理課
	小学校で下水道出前講座を3回実施する	計画どおり 14回実施	○	－	下水道管理課
	桜井北線に排水性舗装を施工する	未実施	×	未達成の理由は、県道整備の遅れによるもの、H21年度に工期延期	区画整理課
	エコサイクルモニターを募集する	計画どおり	○	－	環境首都推進課
	JR安城駅駐輪場増設工事に着手する	計画どおり	○	JR安城駅駐輪場を整備する	維持管理課
	エコサイクルシティ計画を協働で進めるための会議、イベントを開催する	計画どおり	○	エコサイクルシティ計画を協働で進めるための会議、イベントを開催する	都市計画課
道路交通環境対策の推進	レンタサイクルの利用促進PRをする	計画どおり 2回	○	レンタサイクルの利用促進PRをする	都市計画課
	あんくるバスPR、検討委員会を5回以上開催する	5回開催	○	あんくるバスPR、検討委員会の開催	都市計画課
	安祥閣駐車場に調整池を整備する	計画どおり 実施	○	大東町に調整池を整備する	土木課
	エコライフノートを200部配布する	209部配布	○	エコライフノートを100部配布する	環境首都推進課
	エコライフひろめ隊隊員の登録世帯を増やす	計画どおり 185世帯	○	エコライフひろめ隊隊員の登録世帯を200世帯にする	環境首都推進課
	環境教育の発表に対して支援する	計画どおり 1回	○	環境教育の発表に対して支援する	商工課
	コンポスト80基に購入補助を行なう	818基に補助	○	コンポスト150基に購入補助を行なう	ごみ減量推進室
	生ゴミ処理機190基に購入補助を行なう	2,743基に補助	○	生ゴミ処理機450基に購入補助を行なう	ごみ減量推進室
	古紙類を年間4,500トン回収する	4,285トン回収	×	未達成の理由は、市民へのPR不足によるもの、クリーン推進員を通じてPRする	ごみ減量推進室
	放置自転車リサイクルを年4回広報でPRする	年4回	○	古紙類を年間5,750トン回収する 放置自転車リサイクルを年4回広報でPRする	ごみ減量推進室
身近な生活環境の保全	消防訓練の94%以上で水消火器を使用する	92%で使用	○	－	防災課
	家電4品目の不法投棄台数を450個以下にする	402台	○	家電4品目の不法投棄台数を450個以下にする	環境保全課
	川と海のクリーン大作戦を実施する	計画どおり	○	－	環境保全課
	化学肥料、農薬販売量を年1回調査する	1回調査	○	化学肥料、農薬販売量を年1回調査する	農務課
環境保全型農業の推進	環境保全型農業について年1回PRする	1回PR	○	環境保全型農業について年1回PRする	農務課

## 自ら進んで地球環境を守るまち【地球環境】

環境目標	平成20年度目標	平成20年度実績	達成	平成21年度目標	担当課
地球温暖化防止対策の推進	市施設の温室効果ガスの排出量を2.4%削減する	H17年度比4.6 %削減	○	市施設の温室効果ガスの排出量を2.4 %削減する	全部門
	ISO準用施設の電気使用量を1.1%削減する	H17年度比2.5 %削減	○	ISO準用施設の電気使用量を1.6%削減する	全部門
	ISO準用施設の都市ガス使量を16.9 %以内に抑制する	H17年度比10.8 %増加	○	ISO準用施設の都市ガス使量を16.4%以内に抑制する	全部門
	ISO準用施設のLPG使用量を16.4%削減する	H17年度比22.6 %削減	○	ISO準用施設のLPG使用量を16.9%削減する	全部門
	ISO準用施設のガソリン使用量を0.9 %削減する	H17年度比4.5 %削減	○	ISO準用施設のガソリン使用量を1.4 %削減する	全部門
	ISO準用施設の軽油使用量を5.8%削減する	H17年度比12.6 %削減	○	ISO準用施設の軽油使用量を6.3%削減する	全部門
	ISO準用施設の灯油使用量を5.8%削減する	H17年度比35.8 %削減	○	ISO準用施設の灯油使用量を2.0%削減する	全部門
	ISO準用施設の重油使用量を3.3%削減する	H17年度比27.0 %削減	○	ISO準用施設の重油使用量を3.3%削減する	全部門
	ISO準用施設の水道使用量を0.1%削減する	H17年度比2.9 %増加	×	未達成は、小中学校の漏水によるもの、修繕により対応済み ISO準用施設の水道使用量を0.4%削減する	全部門
	市職員のエコサイクルデーを実施する	毎月3日、19日 24回実施	○	市職員のエコサイクルデーを実施する	人事課
	市内の太陽光発電設備容量を2,400 kwにする	2586kw	○	市内の太陽光発電設備容量を4,000kwにする	環境首都推進課
	市民会館にESCO事業を導入する	計画どおり	○	適正な運転管理により、16.3%のエネルギーを削減する	経営管理課
	蛍光灯安定器の故障交換時には100%省エネ型に交換する	計画どおり	○	蛍光灯安定器の故障交換時には100%省エネ型に交換する	行政課
	北庁舎の省エネ型蛍光灯安定器を導入する	計画どおり	○	—	行政課
	本庁舎にみどりのカーテンを施す	計画どおり	○	本庁舎にみどりのカーテンを施す	行政課
	市役所に駐輪場を増設する	計画どおり	○	—	行政課
	次世代自動車を4台庁舎へ導入する	計画どおり	○	—	財政課
	低公害車の庁車の導入割合を49%にする	49%に導入	○	低公害車の庁車の導入割合を54%にする	財政課
	エコドライブにより庁車の燃費を6%向上させる	1%向上	×	未達成は、職員の力量、意識不足によるもの、講習会等により向上させる	財政課
	フィルム写真のプリント枚数を62.7%削減する	95.8%削減	○	—	秘書課
	災害情報収集・伝達システムの普及拡大のためにPRする	計画どおり 3回	○	災害情報収集・伝達システムの普及拡大のためにPRする	防災課
	ひとり暮らしの高齢者等の住居に家具転倒防止器具を取り付ける	計画どおり 255件設置	○	ひとり暮らしの高齢者等の住居に家具転倒防止器具を取り付ける	社会福祉課
	会計システムの随時支払を定期支払日に集約する	計画どおり	○	—	会計課
	市議会議員に環境情報を年4回定期的配信	4回配信	○	市議会議員に環境情報を年4回定期的配信	議事課
	市議会で使用する法規総覧を電子化する	計画どおり	○	—	議事課
	特定品目のグリーン調達率を97.5%にする	調達率97.8%	○	特定品目のグリーン調達率を98%にする	全部門
	環境にやさしい七夕まつりを開催する	計画どおり 8月開催	○	環境にやさしい七夕まつりを開催する	商工課
	第7次総合計画の主要プロジェクトの推進プログラムの見直しを行なう	計画どおり	○	第7次総合計画の主要プロジェクトの推進プログラムの見直しを行なう	企画政策
	第7次総合計画の成果指標、目標値の見直しを行なう	計画どおり	○	第7次総合計画の成果指標、目標値の公表を行なう	企画政策

地球環境保全に貢献	職員提案の提案件数を増やす	提案件数553件	○	職員提案の提案件数を増やす	経営管理課
	公共施設3か所に太陽光発電システムを導入する	計画どおり	○	公共施設2か所に太陽光発電システムを導入する	建築課
	公共工事でラス型枠、廃プラ型枠、フラットデッキ型枠を採用する	計画どおり 4件実施	○	公共工事7か所でラス型枠、廃プラ型枠、フラットデッキ型枠を採用する	建築課
	公共工事で間伐材を利用する	計画どおり 3件実施	○	公共工事7か所で間伐材を利用する	建設部門
	公共工事で土再利用率を98%にする	99.2%	○	公共工事で土再利用率を98%にする	建設部門
	公共工事で再生砕石利用率を96%にする	99.2%	○	公共工事で再生砕石利用率を96%にする	建設部門
	公共工事でアスファルトコンクリート利用率を97%にする	97.3%	○	公共工事でアスファルトコンクリート利用率を97%にする	建設部門
	公共工事であいくる材利用率を98%にする	98.8%	○	公共工事であいくる材利用率を98%にする	建設部門
	公共工事で環境配慮型建設機械の使用を90%にする	100.0%	○	公共工事で環境配慮型建設機械の使用を90%にする	建設部門

## みんなが参加し、考え、行動するまち【地球環境】

環境目標	平成20年度目標	平成20年度実績	達成	平成21年度目標	担当課
市民・市民団体・事業者・市のパートナーシップの形成	省エネに関する環境講座を実施する	計画どおり 1回開催	○	省エネに関する環境講座を実施する	環境首都推進課
	小学校等へ環境アドバイザーの活用を要請	計画どおり	○	小学校等へ環境アドバイザーの活用を要請	環境首都推進課
	環境アドバイザースキルアップ講座を開催する	計画どおり	○	環境アドバイザー養成講座を開催する	環境首都推進課
	エコネットあんじょうとの協働でエコカレッジを開催する	計画どおり	○	エコネットあんじょうとの協働でエコカレッジを開催する	環境首都推進課
	根羽村植樹祭に参加する	計画どおり	○	根羽村植樹祭に参加する	財政課
	市民との協働により男女共同参画講演会を2回開催する	2回開催	○	市民との協働により男女共同参画講演会を2回開催する	市民活動課
	福祉まつりを環境に配慮したイベントと位置づけて開催する	計画どおり	○	福祉まつりを環境に配慮したイベントと位置づけて開催する	社会福祉課
	ボランティアグループによる市民企画講座を開催する	計画どおり	○	ボランティアグループによる市民企画講座を開催する	生涯学習課
	環境に関する講座を各地区公民館、中央公民館で1回開催する	11回開催	○	環境に関する講座を各地区公民館で計10回開催する	生涯学習課
	インターネットによる環境情報を年間20回提供する	24回提供	○	インターネットによる環境情報を年間20回提供する	環境首都推進課
環境情報の共有化	エコライフキャンペーンを2回実施する	2回実施	○	—	環境首都推進課
	生涯学習情報誌を年4回作成し、全戸に配布する	計画どおり	○	生涯学習情報誌を年4回作成し、全戸に配布する	生涯学習課
	広報あんじょうに毎月定期的に環境意識の啓発記事を掲載する	12回	○	広報あんじょうに毎月定期的に環境意識の啓発記事を掲載する	秘書課
	市政懇談会を8回開催する	計画どおり 9回開催	○	まちかど座談会年20回開催する	秘書課
	環境報告書を作成し配布する	計画どおり	○	環境報告書を作成し配布する	環境首都推進課
	魅力ある学校づくり事業で環境を重視した選出をする	計画どおり 5校採択	○	魅力ある学校づくり事業で環境を重視した選出をする	総務課
	都市公園観察ノート作成し、配布する	計画どおり 60部	○	—	環境首都推進課
	こどもエコクラブの登録グループを募集する	計画どおり 20グループ	○	こどもエコクラブの登録グループを23グループにする	環境保全課
	野外センターで自然教室を29全小学校で実施する	29校	○	野外センターで自然教室を29全小学校で実施する	学校教育課
	かがくのひろば展での環境に関する作品を展示する	計画どおり 100点	○	かがくのひろば展での環境に関する作品を100点展示する	学校教育課
環境教育・学習の推進	市民公開講座での環境関連講座を開催する	計画どおり	○	市民公開講座での環境関連講座を開催する	生涯学習課
	安城市民大学での環境関連講座を開催する	計画どおり	○	安城市民大学での環境関連講座を開催する	生涯学習課

# 平成21年度 環境関連事業予算一覧

(単位：千円)

款・項・目	事 業 名	予算額	備 考	担当課
10-05-05 (一般管理費)	庁舎施設管理事業	3,950	ベランダ緑化用消耗品 壁面緑化管理委託料 庁舎照明高効率化工事	行政課
10-05-15 (人事管理費)	基本研修事業	300	EMS内部環境監査員研修 ESD研修（環境教育）	人事課
10-05-55 (財産管理費)	普通財産管理事業	753	矢作川水源の森分収育林事業負担金	財政課
10-05-65 (市民活動費)	市民活動施設整備事業	17,000	太陽光発電整備工事（10Kw）	市民活動課
15-10-80 (児童福祉施設建設費)	安城保育園移転建設事業	17,000	太陽熱設備工事	子ども課
20-10-05 (清掃総務費)	環境保全協働推進事業	178,362	ごみ減量推進委員会 環境戦隊サルビアン クリーンバス アダプトプログラム 生ごみ処理機等補助金 資源リサイクル事業 ごみ減量20%推進事業	ごみ減量推進室
	合併浄化槽普及事業	68,928	合併浄化槽設置整備費補助金	環境保全課
	塵芥処理事業	869,855	ごみステーション設置 監視カメラ 中間処理等業務	
	不法投棄対策事業			
	資源再生化事業			
	リサイクルプラザ施設管理事業			
	せん定枝リサイクルプラント事業			
20-10-10 (塵芥処理費)	最終処分場事業		梗前一般廃棄物最終処分場運営	
20-10-15 (クリーンセンター費)	ごみ焼却施設管理事業	1,787,926	し尿処理施設管理	
20-10-20 (環境対策費)	ごみ焼却灰溶融化事業			
	し尿処理施設管理事業			
	環境対策広域事業	18,095	広域事業協議会負担金 水生生物調査 雨水イオン分析調査 河川水質細密調査	
	環境教育事業		大気環境監視システム運営 騒音・振動関連交通量調査 土壤汚染調査 周期調査	
	酸性雨モニタリング事業		ダイオキシン類調査 生活排水対策モデル地区	
	水質汚濁防止事業		油ヶ淵水質浄化促進協議会	
	大気汚染防止事業			
	騒音・振動防止対策事業			
	土壤汚染防止事業			
	悪臭防止事業			
20-10-25 (環境対策費)	有害化学物質測定事業			
	生活排水対策実践事業			
	油ヶ淵水質浄化事業			
	環境基本計画推進事業	105,092	環境報告書 新EMS構築	環境都市推進課
	ISO14001維持管理事務		環境アドバイザー等支援事業	
	環境アドバイザー等支援事業		地球温暖化対策地域協議会事業	
	環境意識啓発事業		環境意識啓発事業	
	省エネルギー推進事業		エコネットあんじょう運営支援	
	新エネルギー導入事業		エコライフひろめ隊	
	環境学習推進事業		あんじょうD30	
20-10-25 (環境対策費)	環境基本計画策定事業		太陽光発電補助金 環境大学院 環境基本計画策定業務	

款・項・目	事 業 名	予算額	備 考	担当課
30-05-10 (農業総務費)	アグリライフ支援事業	26,283	拠点施設の開設・運営 拠点施設、実習農園整備工事 市民ふれあい農園補助金	農務課
30-05-15 (農業振興費)	アン・ジョー環境農業推進事業	30,000	アン・ジョー環境農業推進事業補助金	
	生産部会等活動支援事業	1,050	省エネ型農業補助金	
	環境保全型農業推進事業	750	環境保全型農業推進PR 環境保全型農業推進事業補助金	
	農地・水・環境保全向上営農活動支援事業	8,800	地域協議会負担金	
30-05-20 (畜産業費)	畜産衛生環境保全対策事業	4,730	悪臭発生防止費補助 衛生害虫発生予防費補助 畜産環境保全推進費	
30-05-35 (農地費)	環境用水事業支援事務	37,559	環境用水事業補助金	土地改良課
	水源かん養造林事業支援事務	11,525	水源かん養造林事業補助金	
	農地・水・環境保全向上活動支援事業	35,228	活動支援負担金 事業推進、確認業務委託料 地域協議会負担金	
35-05-10 (商工業振興費)	ISO14001・9000取得促進事業	5,000	I S O 14001認証取得補助	商工課
40-10-25 (交通安全施設整備事業費)	自転車ネットワーク整備事業	6,000	市道大東住吉線他 測量設計委託料	土木課
40-15-05 (河川維持費)	河川環境管理事業	2,700	環境対策委託料	
40-15-10 (河川新設改良費)	雨水貯留浸透施設設置事業	1,500	貯留浸透施設設置補助金	
(都市計画費)	国庫補助金申請事務	12,000	先導的都市環境形成計画策定	都市計画課
	自転車利用情報提供事業	0	自転車マップ作成 自転車サイン計画策定	
	エコサイクルシティ協働推進事業	1,200	自転車まちづくりセンター活動委託 エコサイクルシティ実行委員会 エコサイクルシティ啓発	
	レンタサイクル事業	6,193	新規車両購入・整備 レンタサイクル管理等委託 長期レンタサイクル社会実験	
	あんくるバス運行事業	110,633	あんくるバスの運行負担金	
40-20-15 (緑化事業費)	明治用水緑道東井筋	20,000	自転車道整備	公園緑地課
	明治用水緑道環境整備	9,000	環境整備調査設計 緑道環境整備	
	明治用水緑道西井筋	50,000	緑道実施設計 緑道整備	
40-20-50 (南明治第一土地区画整理事業費)	南明治第一土地区画整理事業	3,000	環境配慮型まちづくり構想検討 環境配慮型まちづくり基本計画策定	南明治整備課

(単位：千円)

款・項・目	事 業 名	予算額	備 考	担当課
50-10-05 (小学校学校管理費)	魅力ある学校づくり事業	6,000	市内21小学校	教委総務課
50-15-05 (中学校学校管理費)	魅力ある学校づくり事業	4,000	市内 8 中学校	
50-15-80 (小学校建設費)	安城南中学校整備事業	0	太陽光発電整備工事 (15Kw)	
50-25-20 (市民会館管理費)	市民会館ESCO改修事業	17,296	委託料	生涯学習課 (市民会館)
50-25-70 (文化財保護費)	文化財保護事業	3,680	本證寺内堀環境調査等委託料 本證寺内堀浚渫等工事費	文化財課
50-30-30 (スポーツセンター管理費)	スポーツセンター施設管理事業	26,000	都市ガス料金 (コ・ジェネ) 都市ガスを使って100Kwの発電 発電余熱をプール温水に利用	体育課
50-30-35 (学校給食共同調理場費)	給食共同調理場施設管理事業	2,538	生ごみ処理機保守点検委託 専用菌床・設備保守点検費用	給食課
	給食共同調理場運営事業	1,235	ビニールゴミ燃料化処理	
50-30-80 (学校給食共同調理場建設費)	中部学校給食施設整備事業	29,250	生ごみ処理機設備工事費 廃水処理施設建設工事費	
下 水 特 会	下水道特別会計全部	4,814,000	下水道施設整備・運営経費 面整備 96ha 汚水管路建設工事 浄化槽雨水貯留施設転用補助金	下水道管理課 下水道建設課
農集排特会	農集排特別会計全部	52,000	農集排事業に関する運営経費 浄化槽雨水貯留施設転用補助金	
	合 計	8,406,411		



本市では、環境基本計画を推進していくうえで、市民・市業者との連携を図るため、この環境報告書に対する市民の皆様からのご意見をいただいています。

平成20年度安城市環境基本計画年次報告「安城市環境報告書」に、1名の市民の方からご意見をいただきました。

#### 市民からのご意見の概要

この報告書をよりわかりやすくし、その理解を深めるためには次のことを明らかにすると良いのではないかと思います。

- ① この報告書と他の諸計画との関連・整合性
- ② 「環境」という言葉の考え方、捉え方とそれに対する「施策」の結びつき
- ③ 「実施状況」と「成果」の明確化



#### ご意見 ① に対する市の考え方

この報告書は、安城市環境基本計画（平成18年）の進捗度合いを広く市民の皆様にお知らせするものです。従いまして、その構成は環境基本計画と同じものとなっておりますので、参照しながらご覧いただければ分かりやすいと思います。

また、環境基本計画は、第7次安城市総合計画を補完する個別計画として位置づけられており、その実施計画に基づき施策・事務事業を進めています。



### ご意見②に対する市の考え方

「環境」の持つ言葉の意味は広く、自然環境、生活環境、教育環境、地球環境と様々です。第7次安城市総合計画では、自然環境のみならず、あらゆる施策に環境の視点を取り入れることとしています。環境基本計画でも、これらさまざまな「環境」について、施策を体系付けています。



### ご意見③に対する市の考え方

現在の環境基本計画で掲げる指標につきましては、実施による効果（アウトカム）ではなく、実施結果（アウトプット）を成果指標としているものが多くあります。今後は、それらを取捨選択して、より市民の皆さんにわかりやすいものにする必要があると思います。

ご提案いただきました内容は、「環境施策を進めるにあたって、その位置づけや意義、目標管理を市民に分かりやすくする必要がある。」といったものです。これは環境報告書ではなく、環境基本計画の中で整理していくものと考えます。平成21、22年度の2か年で環境基本計画を改定しますので、その際の参考とさせていただきます。

### 様式

安城市環境基本計画に掲げる各種施策及びこの環境報告書の内容について、皆様のご意見・ご感想をお寄せください。【提出締切日：平成22年2月26日(金)】  
(表紙の裏に提出方法が記載されています。)

安城市役所 企画部環境首都推進課  
「平成21年度 環境報告書」係 行

**FAX : 0566-76-1112**



〒□□□□□□□

平成 年 月 日

ご住所  
ふりがな

お名前 年齢 歳

電話番号

FAX番号

メールアドレス

●アンケートにご協力ください。（該当する箇所の□をチェックしてください。）

**Q1 この報告書は、読みやすいですか。**

- 読みやすい  普通  読みにくい点がある

**Q2 内容についてどう思いましたか**

- 充実している  普通  物足りなさを感じる

**Q3 本市の環境問題への取組（環境施策）をどう評価されますか**

- よく評価できる  普通  まだまだ不十分である

**Q4 この報告書をどのような立場でお読みになりましたか**

- 市民  事業者の環境担当者  環境NGO・NPO  行政機関  
 報道機関  各種団体  教育・研究機関  学生  その他（ ）

※Q1～Q3で具体的に記入していただける方は、下の記載欄にお願いします。

### ●ご意見等記載欄

番号（ ）

ご協力ありがとうございました。



〈表紙の絵〉 平成21年度 環境衛生思想普及ポスター 特選作品  
二本木小学校 4年 青野 純弥さん

この年次報告書は、安城市環境基本条例第7条に基づき、平成20年度における安市の環境の状況並びに環境の保全及び創造に関して講じた施策の概要について取りまとめ、公表するものです。

平成21年度版  
**安城市環境報告書**  
(環境基本計画 年次報告)

平成22年1月

〈発行〉 安城市  
〈編集〉 環境首都推進課

〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23  
TEL 0566-71-2206  
FAX 0566-76-1112(代)  
<http://www.city.anjo.aichi.jp/>

安城市は、市民・市民団体・  
事業者・市の協働により、より一層、  
環境にやさしいまちづくりを推進し、  
**「環境首都・安城」**  
をめざします。



2000.4.25 安城市役所